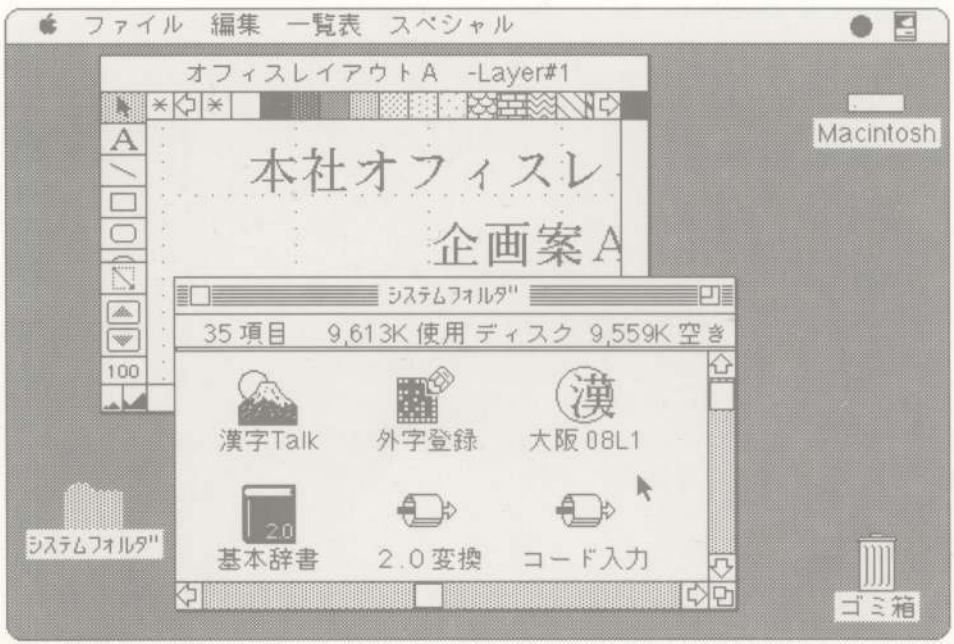
Macintosh™ KanjiTalk™

日本語入力操作ガイド



保証と責任の範囲

本マニュアルおよびメディア（該当ソフトウェアを収納した媒体）の保証は、本製品を当初購入いただいた日から90日間に限定されております。アップルコンピュータ社は、本マニュアルに記載された製品に関し、明示または黙示の品質、性能、商品価値、またはどのような特定の使用目的に対する適合性についても、その保証は表示いたしません。この結果、本ソフトウェアは、現状のままで販売されるものです。購入者は、本製品の品質および性能に関する全責任を負担するものとします。アップルコンピュータ社は、本ソフトウェアまたはマニュアルの欠陥の結果発生する直接、間接、特別、偶然または必然的な損害について、仮に当該損害が発生する可能性があると告知されていた場合でも、一切の責任を負いません。同時に、当社はプログラムまたはデータの回復に要する費用、または再製に要する費用を含めて、アップルコンピュータ社の製品に記憶された、または使用されるプログラムにつき、一切の責任を負いません。アップルコンピュータ社の販売元、販売店またはこれらの社員は、この責任に関し、いかなる修正、拡大または追加をすることを授権されていません。

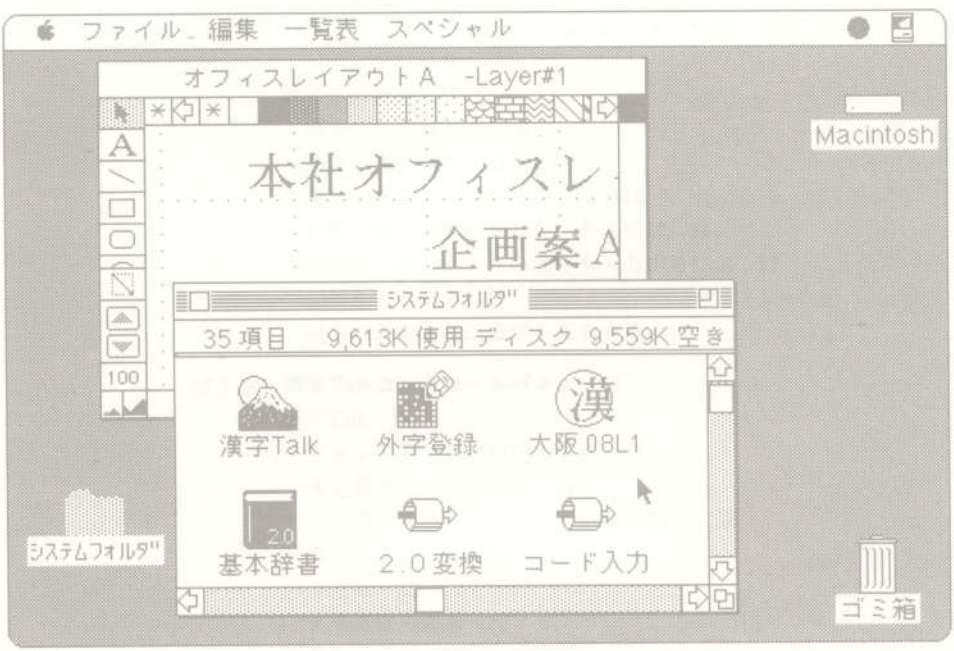
版権

本マニュアルおよびマニュアル中に記載されているソフトウェア（コンピュータプログラム）は、アップルコンピュータ社により、すべての版権が保存されています。ソフトウェアの正常な使用またはバックアップコピーを作成する場合を除き、アップルコンピュータ社の書面による同意なしでは、本マニュアルやプログラムは、一部または全部を問わず、複製を禁じられています。またこの例外（バックアップコピーの可能性）についても、売却されるか否かを問わず、他人のために複製を許可するものではありませんが、購入された本マニュアルおよびソフトウェアを他人に売却、または贈与することはできます。複製とは、本マニュアルを他の言語や書式に翻訳、書き換えすることも含みます。

〈本マニュアルの一部または全部の転載、複製を禁じます。〉

Macintosh™ KanjiTalk™

日本語入力操作ガイド



APPLE COMPUTER, INC.

Appleのロゴタイプおよびロゴマークは、アップルコンピュータ社の登録商標です。

Macintoshおよび漢字Talkは、アップルコンピュータ社の商標です。

本マニュアル中に記載されているソフトウェアは、使用する本人がバックアップのためにコピーする場合を除き、複製することを禁じます。

© Apple Computer, Inc., 1989
All rights reserved.

目次

はじめに　v
このマニュアルについて　v
システムフォルダの構成　vi
漢字Talkシステムのバージョンについて　vii
スクリプトマネージャについて　viii

第1章　2.0変換での入力方法　1
キーボードの使いかた　2
キーボードの使いかたを設定する　3
入力を始める前に　3
入力モードについて　4
ひらがなの入力　5
カタカナの入力　6
英文字の入力　6
文字の種類を混ぜて入力するには　8
入力ウインドウに表示してから文字の種類を変更する（トランスリタレーション）　9
漢字への変換　10
漢字への変換方法　10
熟語、複合語の入力　12
複数の文節を一度に変換する　13
目的の漢字が表示されないときには　14
記号や読みのわからない漢字を入力するには　17
記号を入力する　17
読みのわからない漢字を入力する　17

第2章　漢字Talkコントロールパネル　19
漢字Talk　21
フォントディスク使用の有無　21
未定義文字の表示方法　21
かな漢字変換／コード入力の切り替え　22
漢字キャッシュ　22
外字登録　23
文字情報の表示　23
外字の作成　23
既存の文字の修正　24
Keyboard　25
コード入力　26
コードの選択　26

2.0変換　27
新しい辞書の作成　27
辞書を開く　27
文字列の登録　28
辞書の中身を検索する　28
学習機能の設定　29
基本辞書の設定　29

第3章　トラブルシューティング　31

付録A　フォントについて　34
漢字Talkの日本語フォント　34
細明朝体／中ゴシック体フォントについて　35

付録B　漢字Talkショートカット　37

付録C　ローマ字変換表　39

付録D　記号入力およびJIS漢字区点コード表　40
記号入力　40
オプションキャラクタ　40
JIS第一水準漢字区点コード表　42
JIS第二水準漢字区点コード表　50

索引　64

はじめに

漢字Talkシステムソフトウェアは、スクリプトマネージャと呼ばれるアップルコンピュータ社の世界的な統一システムの一環として開発されました。スクリプトマネージャを使うことにより、Macintosh用に開発された多くのアプリケーションソフトウェアを日本語および英語で使うことができます。(適切に作動しないものもありますので、詳しくはアップル製品取扱店でご確認ください)。

英語の入力は通常のタイプライタと同様にそのままキーボードから入力できますが、日本語の入力には2.0変換という日本語フロントエンドプロセッサを使用します。

❖**他のフロントエンドプロセッサをご使用の方へ**：漢字Talkシステムソフトウェアでは複数の入力用フロントエンドプロセッサをシステムにインストールすることができます。(ただし、使用できるものは選択されているフロントエンドプロセッサに限ります。) 他社のフロントエンドプロセッサをご使用の場合は、それに付属のマニュアルを参照してください。

このマニュアルについて

このマニュアルでは、日本語入力に欠かせない、漢字Talkスクリプトマネージャシステムおよび2.0変換フロントエンドプロセッサを使い、日本語を入力する方法を説明します。マウスの使い方や基本的なMacintoshの操作方法はすでに修得されていることを前提としています。もしまだ操作に慣れていない場合は、「Macintoshシステムソフトウェアガイド」を参照してください。

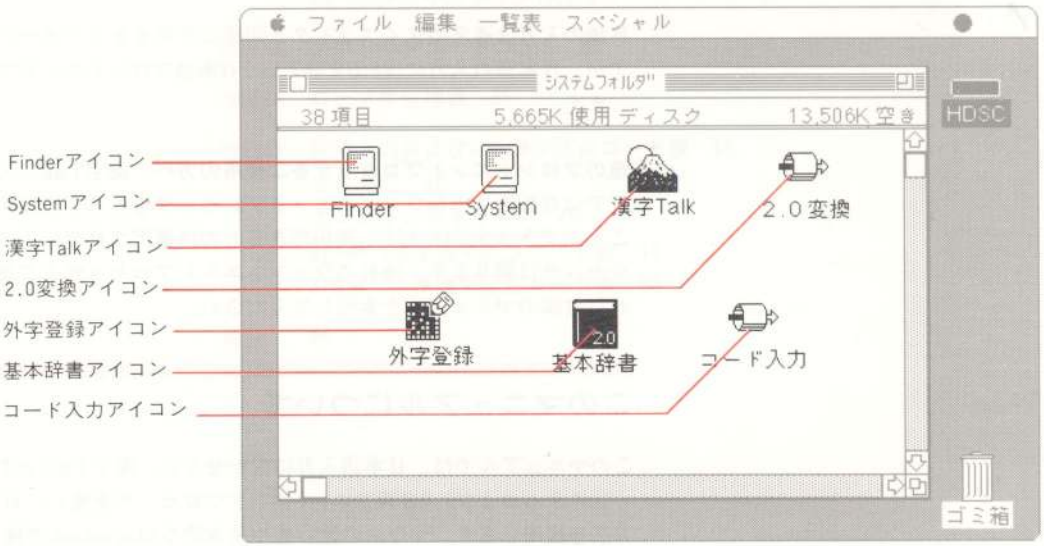
このマニュアルでは、以下の順序で解説していきます。

■第1章　2.0変換での入力方法
■第2章　漢字Talkコントロールパネル
■第3章　トラブルシューティング
■付録A　2.0変換を有効に使うためのキー操作
■付録B　ローマ字入力の際の変換表
■付録C　2.0変換で使用できる記号と、JIS第一水準、第二水準の区点コード

システムフォルダの構成

“2.0変換”とは、“漢字Talk”システムソフトウェア上で“かな→漢字”の変換をする入力ルーチンです。これにより、各種アプリケーションでの漢字入力が可能になります。

2.0変換を使うには、システムフォルダ内に下図に示されているアイコンが必要です。インストール方法はシステムソフトウェアガイドに従ってください。



漢字Talkのバージョンを確認するには

1．アップルメニューをプルダウンし、“コントロールパネル”を選びます。

2．コントロールパネルのメニューの漢字Talkアイコンをクリックします。

“MicroFontを使用”の右に表示されているのが漢字Talkのバージョンです。

また、ファインダ上でアイコンを選択し、ファイルメニューから“インフォメーション”を選んでもバージョン番号を確認できます。

重要 漢字Talk6.0のシステムファイルは全て新しくなっています。旧バージョンのファイルや英語バージョンのSystemファイル、Finderファイルなどと組み合わせたりしないでください。

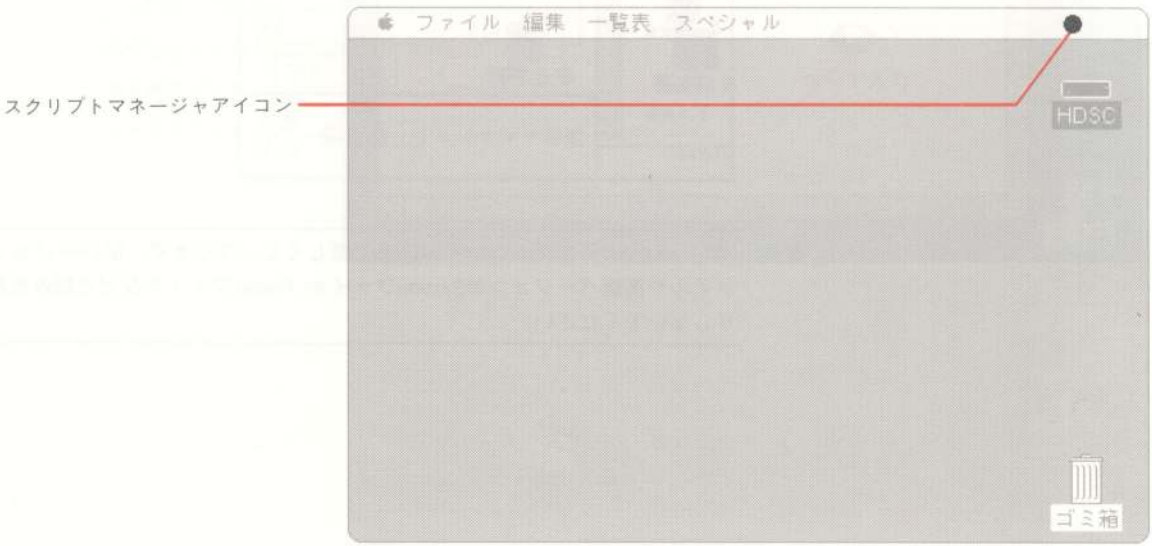
スクリプトマネージャについて

漢字Talkシステムソフトウェアは、スクリプトマネージャと呼ばれるアップルコンピュータ社の世界的統一システムの一環として開発されました。スクリプトマネージャは、1つのアプリケーションを複数の異なる言語の文字（漢字、アラビア文字、ハングル文字など）で使用するためのものです。漢字Talkシステムでは日本語と英語を使うことができます。

メニューバー右端のスクリプトマネージャアイコンが●になっているか、◆かで、そのときに使用できる言語を見分けられます。●のときは日本語、◆のときは英語です。

スクリプトマネージャの表示（●または◆）にマウスのポインタを合わせ、クリックすると、●のときは◆、◆のときは●に切り替わります。また、⌘キー（コマンドキーともいいます）を押しながら、スペースバーを押しても切り替えることができます。

2.0変換フロントエンドプロセッサが使用できるのは●(日本語モード)のときのみです。



❖**参考**　英文ワープロなど、一部のアプリケーションでは、日本語(2バイト文字)を入力した場合、文字がまったく違う記号や文字に置き換えられてしまうこと(文字化けといいます)があります。アプリケーション購入の際は、漢字Talk上で適切に作動するかご確認ください。

第1章

2.0変換での入力方法

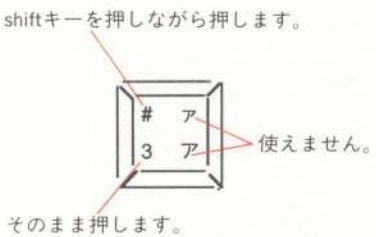
この章では、2.0変換を使っての入力方法を説明します。まず、ひらがな、カタカナ、英数字の入力、次にかな漢字変換をひととおりやってみましょう。マニュアルに沿って、実際に試してみてください。

キーボードの使いかた

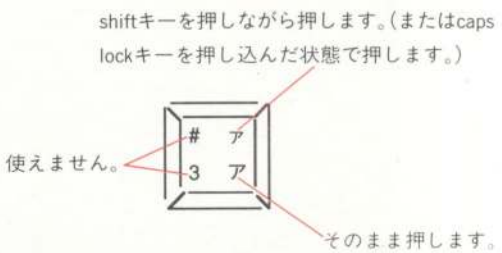
日本語を入力する場合、キーボードの使いかたには2種類あります。1つはローマ字変換でかなを入力する“ローマ字入力”、もう1つはキートップに書かれているかなを直接入力する“かな入力”です。

重要 出荷時は、ローマ字入力に初期設定されています。ローマ字入力をする場合は、設定の変更をする必要はありません。ただし、他の人が使った後など、かな入力になっていることがありますので、必要に応じて変更してください。また、ローマ字入力の場合は、カギカッコ（「　」）や中黒点（・）などのキーの右上に書かれている記号をそのまま使うことはできません。反対にかな入力の場合は、カッコや&、#など、キーの左上に書かれている記号をそのまま使うことはできません。これらの記号類は、17ページの“記号や読みのわからない漢字を入力するには”の手順でお使いください。

■ ローマ字入力の場合



■ かな入力の場合



キーボードの使いかたを変更する場合は、次の手順に従ってください。変更方法については、第3章“漢字Talkコントロールパネル”でも説明しています。

キーボードの使いかたを設定する

1．アップルメニューから“コントロールパネル”を選びます。

2．Keyboardアイコンをクリックします。

3．“かな”と“ローマ字”が表示されるので、設定したいほうをクリックします。

4．コントロールパネルのクローズボックスをクリックするか、ファイルメニューから“閉じる”を選んで、コントロールパネルを閉じます。

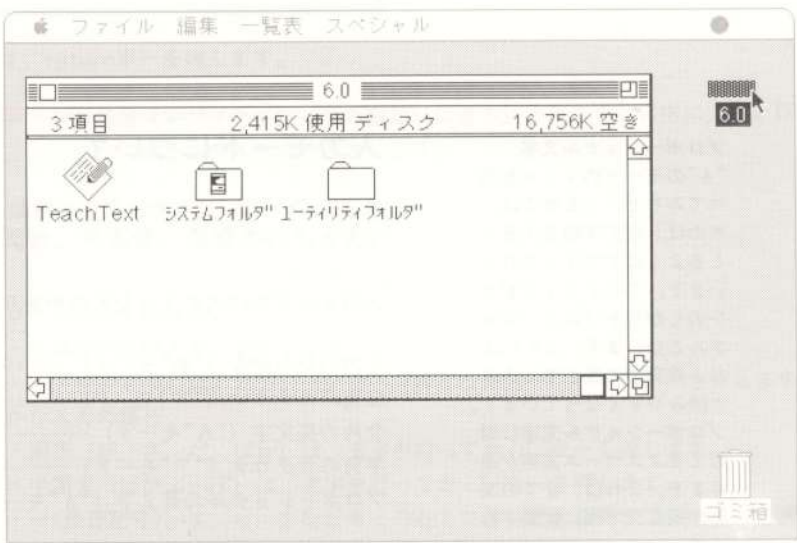
入力を始める前に

2.0変換の基本的な機能は、かな入力(アップルかな配列キーボードかな入力またはローマ字かな変換)をし、それを漢字に変換することです。また2.0変換は登録、検索、学習等の管理も行っています。

さて、実際に動かすには文書作成ソフトが必要となります。付属のシステムディスクには“TeachText”が入っていますので、それを使うと良いでしょう。

1．起動ハードディスクのウインドウを開きます。

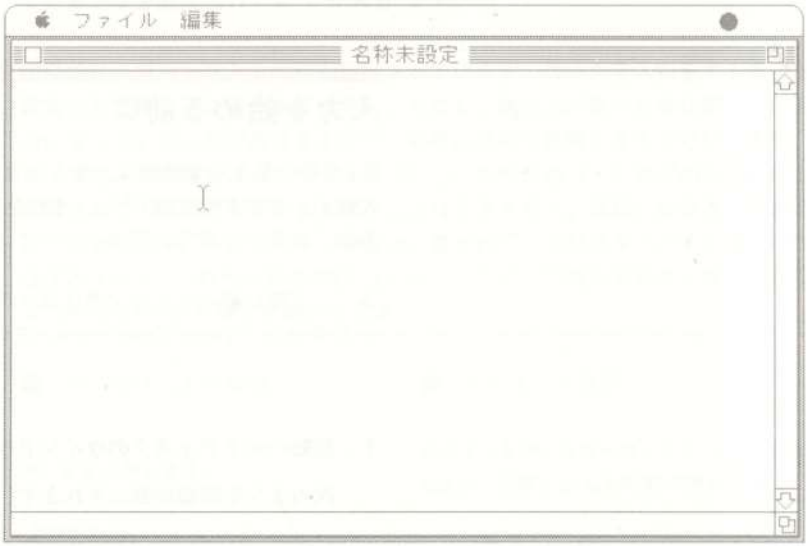
次のような画面が表示されます。



TeachTextのアイコンが見えない場合は、サイズボックスやスクロールバーを使ってアイコンをウインドウ内に表示させます。

2．TeachTextのアイコンをダブルクリックするか、アイコンを選択し、ファイルメニューから“開く”を選びます。

TeachTextの画面が表示されます。TeachTextは、文書を入力するためのアプリケーションで、表示されている白紙の画面に自由に文字を入力できます。



入力モードについて

漢字Talkでは、はじめに文字の種類（入力モード）を指定してから入力します。

入力モードには次のようなものがあります。

全角のひらがな（“あ”モード）……あいうえお
全角のカタカナ（“ア”モード）……アイウエオ
全角の英文字（“A”モード）……ＡＢＣＤＥ
半角のカタカナ（“ｱ”モード）……ｱｲｳｴｵ
プロポーショナルの英文字（“A”モード）……ABCDE

プロポーショナル文字：“A”のモードのiとmを比べてみると、iとmでは、mのほうが文字幅を大きくとるようにデザインされています。このようなデザインのしかたをプロポーショナルといいます。これにより、英文字の文もすっきりと読みやすくなっています。プロポーショナル文字に対してモノスペース文字があります。これは、全ての文字が同じ文字幅に配置されます。

重要 カタカナと英文字を全角にするか半角（英文字ではプロポーショナル）にするかのモード設定はコントロールパネルの"2.0変換"で行います。設定方法は29ページをご覧ください。入力ウインドウに文字を入力してから、全角と半角を変えるトランスリタレーション（後述）という機能もあります。

ひらがなの入力

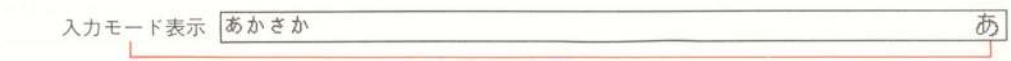
まず、メニューバーの右端のスクリプトマネージャ表示が●になっていることを確認してください。◆（英語）になっているときは、マウスでクリックし、●（日本語）に変えます。⌘キー（コマンドキー）を押しながらスペースバーを押しても変換できます。

入力の途中でまちがえたときは、backspaceキーかdeleteキーを押し、まちがえた部分を消して入力し直してください。

1．キーボードで"あかさか"と入力してみましょう。

ローマ字入力　akasaka
かな入力　　アカサカ

画面の下に次のような画面が出ます。これを入力ウインドウといいます。



2．returnキーを押します。

上の画面（アプリケーションの書類）に書き込まれます。自由に文字を打ってひらがなで書き込んでみましょう。

濁音、半濁音、長音の打ちかた

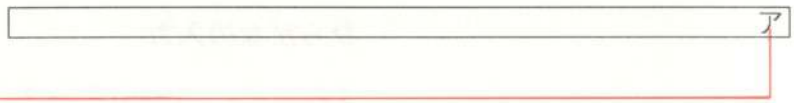
ローマ字入力の場合
・付録Dの変換表をご参照ください。
・ー（長音記号）は、オプションキーを押しながら－（ハイフン）を押します。
かな入力の場合
・濁音（が、ざ、だ、ば行）は、文字を打ってから゛キーを押します。
・半濁音（ぱぴぷぺぽ）は、文字を打ってから゜キーを押します。
・ー(長音記号)、ぁ、ゃ、をなどキーの右上に書いてある文字はshiftキーを押しながら入力します。

カタカナの入力

option + K

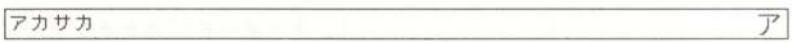
1．optionキーを押しながらKを押します。

入力ウインドウが表示されます。モード表示は、カタカナ入力を示す“ア”（または半角の“ｱ”）になっています。



2．“アカサカ”と入力してみましょう。キー操作はひらがなのときと同じです。

ローマ字入力　akasaka
かな入力　　アカサカ



3．returnキーを押します。

return

上の画面に書き込まれます。

英文字の入力

英文字は、スクリプトマネージャ表示を◆にして文書に直接書き込む方法と、一度入力ウインドウに表示してから文書上に書き込む方法があります。スクリプトマネージャを◆にすると、プロポーショナル文字で書き込まれます。入力ウインドウに書き込んだ場合は、入力してから文字の大きさ（全角かプロポーショナルか）を変更することができます。

重要　キーボードをかな入力に設定しているときは、英文字を入力ウインドウに表示させる方法は使えません。スクリプトマネージャを◆にして入力してください。

文書画面に直接書き込むには

1．マウスでスクリプトマネージャ表示をクリックするか、キーを押しながらスペースバーを押し、スクリプトマネージャ表示を◆（英語）にします。

つまり、英文字入力の場合のみ英語環境にするということです。

2．好きな文字を入力します。

入力した文字が直接、文書に書き込まれます。

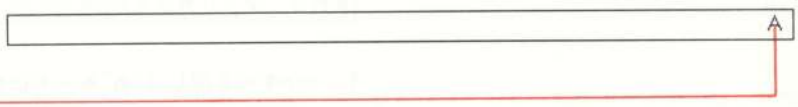
入力ウインドウに書き込むには（ローマ字入力のときのみ使えます）

スクリプトマネージャ表示が●になっていることを確認してください。

option + K　tab

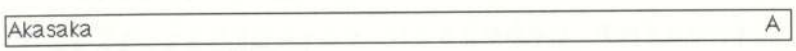
1．optionキーを押しながらKを押し、optionキーから手を離してtabキーを押します。

入力ウインドウが表示されます。モード表示は、英文字入力を表す“A”（またはプロポーショナルの“A”）になっています。



入力モード表示

2．“Akasaka”と入力してみましょう。大文字は、shiftキーを押しながら打ちます。



3．returnキーを押します。

return

上の画面に書き込まれます。

文字の種類を混ぜて入力するには

漢字Talkでは、入力モードを変更しながら、いろいろな文字を続けて入力していくことができます。たとえば、“きのう、アメリカからJohnがきました。”と入力してみましょう。

1．“きのう、”と入力します。

きのう、	あ

2．tabキーを押し（“ア”モードになります）、“アメリカ”と入力します。

きのう、アメリカ	ア

3．tabキーを2回押し（“あ”モードになります）、“から”と入力します。

きのう、アメリカから	あ

4．tabキーを2回押し（“A”モードになります）、“John”と入力します。

きのう、アメリカからJohn	A

5．tabキーを押し（“あ”モードになります）、“がきました。”と入力します。

きのう、アメリカからJohnがきました。	あ

6．returnキーを押します。

上の画面に書き込まれます。
入力ウインドウが表示されているときには、tabキーを押すたびに、入力モードが“あ”モード→“ア”モード→“A”モード→“あ”モード……と変わっていきます。

入力ウインドウに表示してから文字の種類を変更する(トランスリタレーション)

ここまでは、入力モードを変更してから入力する方法を説明しましたが、この他に、入力ウインドウに文字を打ってから文字の種類を変えることもできます。

1．文字を入力します。

あかさか　あ

2．入力が終わったらenterキーを押してみましょう。

アカサカ　ア

ｱｶｻｶ　ｱ

あかさか　あ

入力ウインドウの中の表示が、ひらがな→カタカナ→半角カタカナ→ひらがなと変わりましたね。このように文字を入力してから変換する方法を**トランスリタレーション**といいます。入力中に、一部の文字のみを変換するときにとても便利な変換方法です。

各モードでのトランスリタレーションによる変換順序は、次のとおりです。
“あ”モード……ひらがなenterカタカナenter半角カタカナenterひらがな
“ア”モード……カタカナenter半角カタカナenterひらがなenterカタカナ
“ｱ”モード……半角カタカナenterひらがなenterカタカナenter半角カタカナ
“Ａ”モード……全角英文字enterプロポーショナル英文字enter全角英文字
“Ａ”モード……プロポーショナル英文字enter全角英文字enterプロポーショナル英文字

重要　enterキーで変換される範囲は、現在挿入ポイントがある位置から、その前にtabキーでモードを変換した位置までです。

❖**全角か半角か**：最初に表示される文字が全角か半角か（英文字の場合はプロポーショナル文字)は、コントロールパネルの2.0変換のオプション設定で指定できます。詳しくは第２章“コントロールパネル”の29ページをご覧ください。

漢字への変換

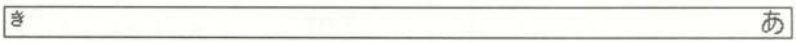
入力ウインドウにひらがなが表示されているときにスペースバーを押すと、そのひらがなを漢字に変換できます。ただし、入力されている語句の先頭が“を”“っ”など、文法的に変換できない文字になっているときには変換されません。

漢字への変換方法

ひらがなの“き”を“黄”という漢字に変換してみましょう。

1．ひらがなの“き”を入力します。

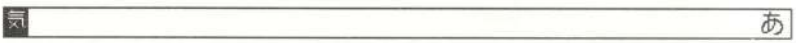
入力ウインドウが表示されます。



2．スペースバーを押します。

入力されたひらがなが漢字に変換されます。

space

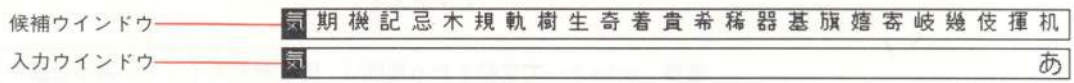


入力ウインドウの漢字が目的の漢字の場合は、ここでreturnキーを押し、文書画面に書き込みます。表示された漢字が目的の漢字とちがうときは、3.以降の操作を行います。

3．再度スペースバーを押します。

space

入力ウインドウの上に同じ読みの字が複数、表示されます。この画面を候補ウインドウといいます。候補ウインドウを消すには、backspaseキーまたはdeleteキーを押します。

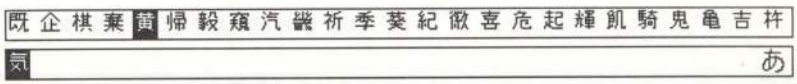


候補ウインドウに目的の漢字がないときにはKキーを押します。次の候補ウインドウが表示されます。この操作を繰り返して目的の漢字が表示されるまで候補ウインドウを切り替えていきます。前の候補ウインドウを見直すには、Iキーを押します。

K　I

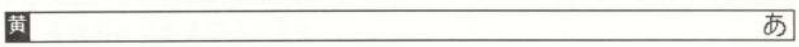
4．目的の漢字を含む候補ウインドウを表示させたら、反転表示を目的の漢字（黄）に合わせます。

反転表示部は、Ｌキーを押すと右、Ｊキーを押すと左に移動します。



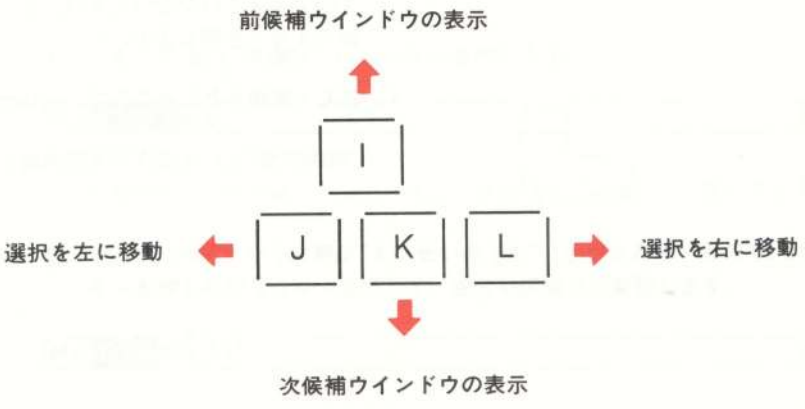
5．目的の漢字が反転表示された状態でreturnキーを押します。

候補ウインドウが消え、入力ウインドウの漢字が選択した漢字に変わります。



6．再度returnキーを押すと、漢字は文書画面に書き込まれます。

以上のように、候補ウインドウの選択と、候補ウインドウ内での漢字の選択には、Ｉキー、Ｋキー、Ｊキー、Ｌキーの４つを使います。



❖**他の選択方法**：候補ウインドウで漢字を選択するには ← → ↓ ↑ キーも使えます。また、マウスのポインタを合わせてダブルクリックしても選択できます。

熟語、複合語の変換

2.0変換では、熟語や複合語も変換できます。ここでは“映画俳優”という複合語を変換してみましょう。

1．ひらがなで“えいがはいゆう”と入力します。

えいがはいゆう　あ

2．スペースバーを押して変換します。

映画は意有　あ

“映画”が“映画は”という文節で読み込まれてしまったので、うまく変換できませんでした。

3．shiftキーを押しながらＪキーを１回押して、正しい区切りに変更します。

映画俳優　あ

１回でうまくいかないときは、正しい区切りになるまでshiftキーを押しながらＪキーを押します。

4．正しく変換されたところで、returnキーを押します。

“映画俳優”という漢字が文書画面に書き込まれます。

複数の文節を一度に変換する

2.0変換では、複数の文節も一度に変換できます。ここでは、“静止衛星の打ち上げ”という連文節を変換してみましょう。

1．ひらがなで“せいしえいせいのうちあげ”と入力します。

せいしえいせいのうちあげ　あ

2．スペースバーを押して変換します。

制止衛生のうち上げ　あ

3．“制止”という字がちがうので、再度スペースバーを押し、候補ウインドウを表示させます。

制止 静止 正視 生死 精子 製紙 製糸 正史 誓紙 誓詞 せいし

制止衛生のうち上げ　あ

4．Lキーで“静止”を選び、returnキーを押します。

静止衛生のうち上げ　あ

候補ウインドウが消え、入力ウインドウの“制止”が“静止”に変わります。

5．“えいせいの”という文節が“えいせいのうち”と誤認されているので、shiftキーを押しながらJキーを押して、正しい区切りに変更します。

静止衛生の打ち上げ　あ

6．区切りは正しくなりましたが、漢字がちがうので、スペースバーを押して候補ウインドウを表示させます。

衛生の 衛星の 永世の えいせいの
静止衛生の打ち上げ あ

7．Lキーで“衛星の”を選び、returnキーを押します。

静止衛星の打ち上げ あ

候補ウインドウが消え、入力ウインドウの“衛生の”が“衛星の”に変わります。

8．“打ち上げ”はこのままでよいので、returnキーを押します。

“静止衛星の打ち上げ”と文書画面に書き込まれます。

目的の漢字が表示されないときには

熟語や複合語などが一度に変換できないときには、漢字１文字ずつ（単漢字）に分けて変換していきます。

この場合、目的の漢字が候補ウインドウに表示されないことがあります。基本辞書に登録されている全ての文字を表示させるには次のように操作します。ここでは、“葡萄”を例に説明します。

1．ひらがなで“ぶどう”と入力し、スペースバーを押します。

ぶどう あ

2．“ぶどう”がひらがなのままなので、再度スペースバーを押します。

ぶどう 武道
ぶどう あ

“葡萄”という文字がないので、“葡”と“萄”に分けて変換します。

3．backspace キーかdeleteキーを押して候補ウインドウを消します。

ぶどう あ

4．shiftキーを押しながらＪキーを押し、区切りを“ぶ／どう”に変更します。

部同 あ

5．“部”という漢字はちがうので、スペースバーを押します。

部 分 歩 武 無 不 舞 撫 蕪 侮 葡 父 生 府 奉 ぶ

部同 あ

6．Ｌキーで“葡”を選び、returnキーを押します。

葡同 あ

候補ウインドウが消え、入力ウインドウに“葡”と書き込まれます。

7．“同”という漢字もちがうので、スペースバーを押します。

同 堂 道 胴 銅 どう

葡同 あ

8．“葡”という字が候補ウインドウにないので、backspace キーかdeleteキーを押し、候補ウインドウをいったん、消します。

葡同 あ

9．optionキーを押しながらスペースバーを押すと、今度は“萄”が候補のひとつとして表示されます。

同 堂 道 胴 銅 動 洞 童 萄 導 瞳 憧 東 撞 働 どう

葡同 あ

10．Lキーで“萄”を選び、returnキーを押します。

葡萄 あ

候補ウインドウが消え、入力ウインドウに“萄”と書き込まれます。

11．returnキーを押します。

“葡萄”という文字が文書画面に書き込まれます。

❖**同じ語句を続けて変換する場合**：ユーザ辞書を開いて学習機能をセットしておくと、1度変換した語句は2度目からはすぐに表示されるようになります。ユーザ辞書については、第2章“漢字Talkコントロールパネル”で説明します。29ページをご覧ください。

記号や読みのわからない漢字を入力するには

ここでは記号や、読みのわからない漢字の入力方法を紹介します。

記号を入力する

記号を入力するには、次の３つの方法があります。

■かな漢字変換で入力する
付録Ｅの“記号入力”で記号につけられた読みを調べ、かな漢字変換と同じ操作で変換します。

■optionキーを使って入力する
optionキーを押しながらキーを押します。押すキーは、付録Ｅの“オプションキャラクタ”の表で調べてください。

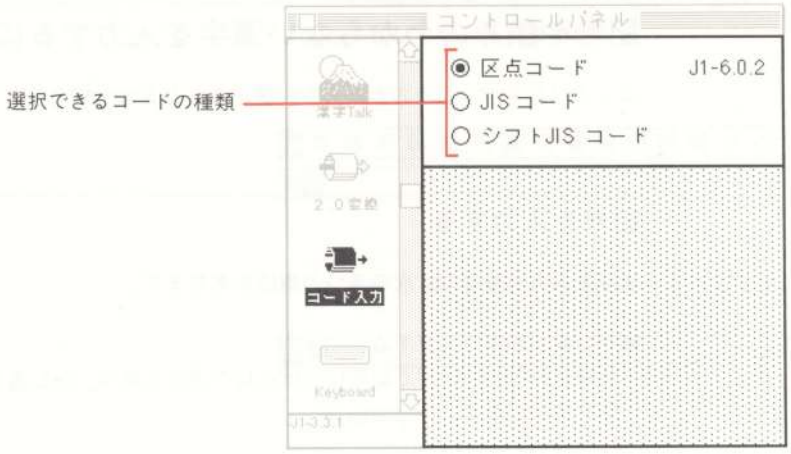
■JISコードで入力する
付録Ｅの“JIS第一水準漢字区点コード表”で区点コード（４桁の数字）を調べ、コード入力する。入力方法は、次の“読みのわからない漢字を入力する”と同じです。

読みのわからない漢字を入力する

読みのわからない漢字は、コード入力が便利です。コード入力については、第２章”コントロールパネル”でも説明しています。詳しくは26ページをご覧ください。

１．コントロールパネルを開きます。

２．“コード入力”をクリックして選択します。



3．“区点コード”“JISコード”“シフトJISコード”のいずれかを選択します。

ここでは、一般的な“区点コード”を選択してください。(付録Eのコード表はこのモードで使えます。)

4．コントロールパネルを閉じます。

これでコード入力の状態になりました。

5．付録Eの“JIS第一水準漢字区点コード表”で表示したい漢字をさがし、その区点コードを調べます。

区点コードは4桁の数字で表されています。

6．数字キーで区点コードを入力します。

4つめの数字を入力すると同時に漢字に変換されます。
通常のかな入力モードに戻すには、コントロールパネルの“漢字Talk”を選択し、“2.0変換”をクリックしてから“現在”ボタンをクリックします。コントロールパネルを閉じると、かな入力モードになります。

第2章

漢字Talkコントロールパネル

この章では、コントロールパネルの中で漢字Talkシステムに関係するモジュールの使いかたを説明します。

コントロールパネルは、アプリケーションを使用中でも開けるので、いつでもシステム設定を行ったり、辞書を設定したりできます。

コントロールパネルに表示される一部のモジュールはコンピュータシステムによって異なりますが、漢字Talkシステムに関係するものは、次の5つです。

この章では、これらのモジュールの使いかたを説明します。

■漢字Talk
■外字登録
■Keyboard
■コード入力
■2.0変換

コントロールパネルを開くには、アップルメニューをプルダウンし、"コントロールパネル"を選びます。閉じるときは、クローズボックスをクリックするか、ファイルメニューから"閉じる"を選びます。

重要 コントロールパネルを開いたときに、必要なモジュールが表示されていなかったら、システムフォルダ内にそのファイルのアイコンがあるかどうかを確認してください。ない場合は、システムディスクからドラッグコピーします。コントロールパネル用のファイルは、System、Finder、漢字Talkファイルと同じ階層になくてはいけません。

漢字Talk

漢字Talkモジュールでは、次の設定を行います。

■フォントディスク使用の有無
■未定義文字の表示方法
■入力方法の切り替え
■漢字キャッシュ

コントロールパネルの"漢字Talk"アイコンをクリックすると"漢字Talk"モジュールが開きます。

フォントディスク使用の有無

起動のときに3.5インチのフォントディスクからフォントをロードするかどうかを設定します。

マウスのポインタを"フォントディスクをロード"の左の☒に合わせてクリックすると、☒と□が切り替わります。

☒に設定すると、起動時に"フォントディスクを挿入してください。"というメッセージが出ます。

□に設定すると、起動時に"フォントディスクを挿入してください。"というメッセージが出なくなります。

起動ハードディスクにインストールされているフォントだけを使用する場合は□に設定します。それ以外の特別なフォントを使用したい場合には☒に設定してください。

未定義文字の表示方法

外字を使った文書を作成すると、その外字を登録した辞書が閉じられた状態では、その文字は表示できません。このような文字を未定義文字といいます。未定義文字の表示方法には2通りあります。ひとつは■で表示する方法、もうひとつはその外字のコード番号を表示する方法です。

マウスのポインタを"MicroFontを使用"の左の□に合わせてクリックすると、□と☒が切り替わります。

☒に設定すると、未定義文字は2段重ねのシフトJISコードで小さく(マイクロフォント)表示されます。□に設定すると、未定義文字は■で表示されます。

かな漢字変換／コード入力の切り替え

文字をかな漢字変換で入力するかコードで入力するかの選択をします。通常はかな漢字変換で入力しますが、記号や読みのわからない漢字などは、コードで入力すると便利です。コード入力のしかたについては26ページをご覧ください。

漢字Talk6.0のかな漢字変換用の入力ルーチンは"2.0変換"という名称です。

- "2.0変換"または"コード入力"のどちらかをクリックして選択します。
- "現在"をクリックするか、入力方法をダブルクリックすると、そのモードでの入力状態になります。
- "スタート時"をクリックすると、次にMacintoshを起動したときにそのモードでの入力状態になります。

漢字キャッシュ

通常、漢字Talkでは日本語が入力されると、そのつど、ハードディスクからその文字のパターンをさがして表示します。漢字キャッシュを使用するように設定すると、1度ディスクから読み込んだフォントはRAM上に記憶されます。2度目からは、このデータを使うので、漢字を表示するスピードがかなり速くなります。

漢字キャッシュの"入"か"切"の○をクリックし、使うか使わないかを設定します。

キャッシュの量は⬆または⬇をクリックすると増減します。

キャッシュの量を増やすと、それだけ表示のスピードは上がりますが、あまり増やしすぎると、アプリケーションが使うRAMの量を制限してしまうので、かな漢字変換のスピードが落ちてしまうことがあります。

外字登録

外字登録モジュールには次の機能があります。

■文字情報の表示
■外字の作成
■既存の文字の修正

コントロールパネルの"外字登録"をクリックすると、"外字登録"モジュールが開きます。

外字作成画面の下のウインドウに外字を登録できるフォントの一覧が表示されます。同じフォントでいくつかのdot数がある場合、ひとつのdotのフォント上で文字を作成したり修正したりすると、他のdotのフォントも自動的に拡大・縮小したものが表示されます。

❖細明朝体、中ゴシック体の場合：細明朝体、中ゴシック体では外字を作成することができません。

文字情報の表示

"タイプ"をクリックすると、外字作成画面に表示されている文字の書体や種類、dot数などが表示されます。他のdotのフォントを拡大・縮小したものが表示されているときには、もとになっているフォントのdot数および書体が表示されます。

外字の作成

必要に応じて記号や文字を作成することができます。

1. **コントロールパネルの"外字登録"を開きます。**
2. **スクリーン右上のボックスに数字が黒く反転表示されます。**
   これはコード番号を表す数字です。

backspaceキーかdeleteキーを押し、"検索"をクリックすると、空きエリアのコード番号が表示されます。これがその文字のコード番号になります。この番号は作成した文字を呼び出すときに使うので、覚えておきましょう。

❖参考：外字登録で作成または修正した文字は、"2.0変換"を開くと、自動的に漢字の入力ボックスに表示されます。入力ボックスに表示された文字には、読みをつけることができます。読みのつけかたは28ページをご覧ください。特に、新たに作成したマークなどには読みをつけておくと、あとでさがすときに便利です。(読みを登録しない場合には、コード番号を覚えておく必要があります。)

外字登録を開いた状態で、外字作成画面に何も表示されていなくても、"スペース"文字の場合があるので空きエリアを検索する操作をしたほうが安全です。また、コード番号0101は、空きエリアに見えますが、全角のスペースです。ここには登録しないでください。

3．登録するフォントを選びます。

外字作成画面の下のフォント表示から、登録したいフォントを選び、マウスでクリックします。
例えばTeachTextでは画面表示に大阪フォントを使うので、Osakaをクリックします。

4．外字作成画面の中でマウスをクリックします。

1dot分のます目が黒く（■）表示されます。そのままマウスをドラッグすると、ポインタが通ったます目が黒くなっていきます。こうして、記号や文字を自由に作ることができます。

■を空白に戻すには、■にポインタを合わせ、マウスをクリックします。作成中のフォントは、右中央のボックスに実際に表示される大きさで表示されます。

5．作成したフォントを保存します。

クローズボックスをクリックするか何か別の作業をすると、“変更したフォントを保存しますか。”というメッセージが表示されます。保存する場合は“はい”、保存しない場合は“いいえ”をクリックします。

❖**参考**：保存が終了すると、“削除”が使用可能になります。(この場合、削除可能なものは、作成したサイズのフォントのみです。)その文字を削除するときには、“削除”をクリックします。そのコード番号は再び空きエリアとなります。

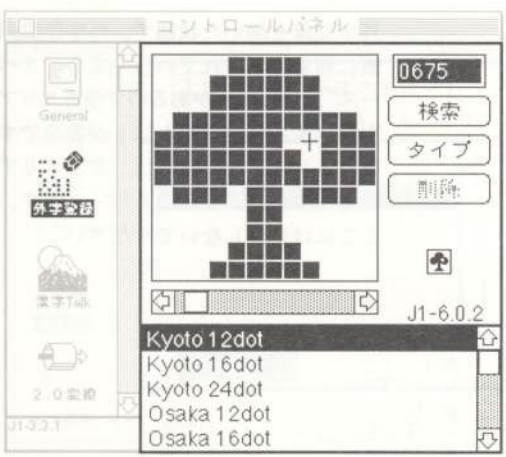
既存の文字の修正

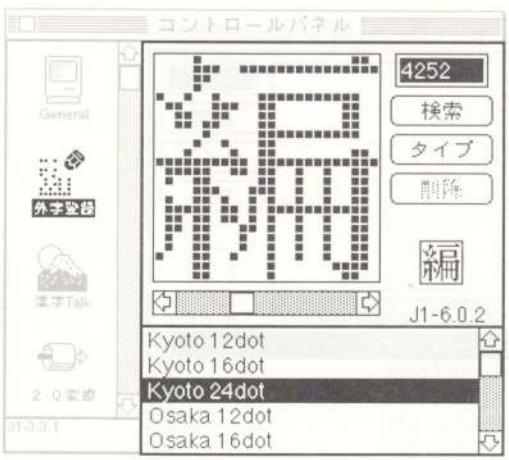
1．修正したい文字を呼び出します。

右上のボックスに修正したい文字のコード番号か文字そのものを入力し、検索をクリックします。外字作成画面に指定した文字が表示されます。

2．外字の作成と同じ手順で文字を修正します。

コードとして使えるのは、区点コードとシフトJISコードです。シフトJISコードを使うときは、コード番号の前に＄マークをつけます。





Keyboard

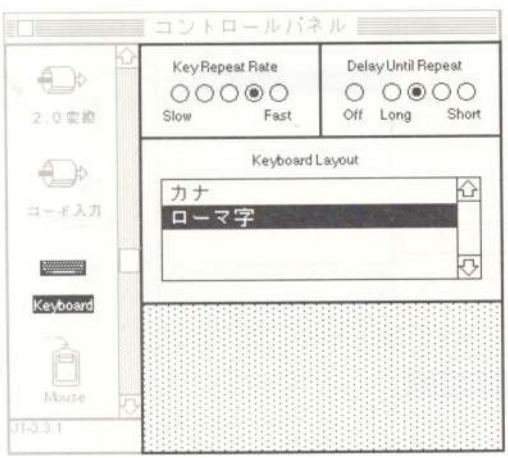
Keyboardモジュールでは、日本語入力の際のキーボードの使いかたを設定します。キーボードの使いかたには次の2種類があります。

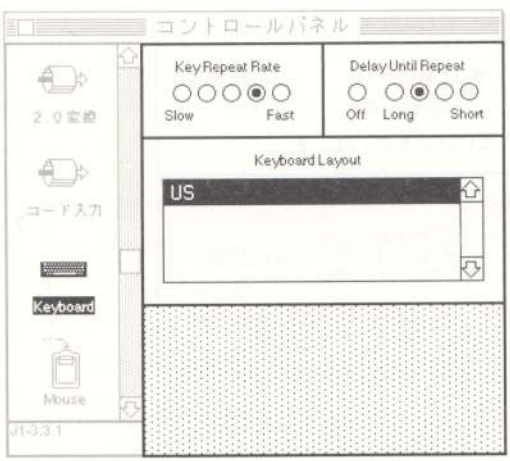
■かな入力
■ローマ字入力

コントロールパネルの"Keyboard"をクリックすると、"Keyboard"モジュールが開きます。

スクリプトマネージャアイコンが●(日本語)のとき、"かな"をクリックするとキートップに書かれているかなを直接入力するモードになります。"ローマ字"をクリックするとローマ字入力のモードになります。

スクリプトマネージャアイコンが◆(英語)のときは、"US"(英文字モード)が表示されます。英語入力のときのキーボードの使いかたは1種類しかありません。





コード入力

コード入力モジュールではコード入力時のコードの種類を選択します。コードには、次の3種類があります。

■区点コード
■JISコード
■シフトJISコード

コントロールパネルの"コード入力"をクリックすると、"コード入力"モジュールが開きます。

この時点で自動的にコード入力のモードになります。

コードの選択

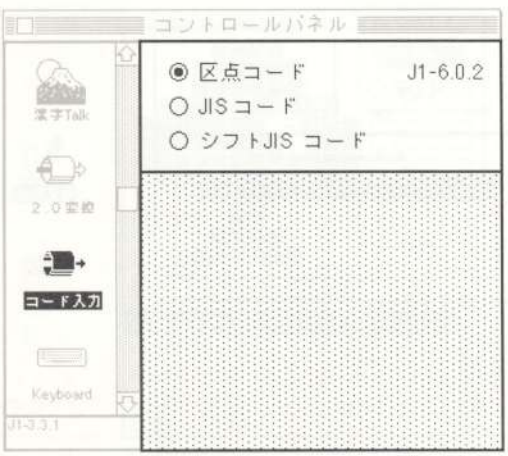
コード入力の際のコードの種類を選択します。

■3種類のコード名の左についている○をクリックします。

クリックしたコード名の○が◉になり、選択されたことを示します。

コード入力のしかたについては17ページをご覧ください。

❖**参考**：かな漢字変換の状態に戻すには"漢字Talk"を開き"2.0変換"をクリックします。また、"2.0変換"のアイコンをクリックしてもかな漢字変換の状態になります。



2.0変換

2.0変換モジュールでは辞書機能の管理をしています。

辞書には、次の３種類があります。

■基本辞書
日本語入力に必要な漢字や語句が入っているので、この辞書がないと日本語入力ができなくなります。この辞書は、開いたり、語句を追加、修正することはできません。

■ユーザ辞書
ユーザが自分で文字や語句を登録するための辞書です。ユーザ辞書を開いていると、学習機能を使えます。

■専門辞書
専門用語を登録したり、市販の専門辞書を入れるためのものです。

コントロールパネルの“2.0変換”をクリックすると“2.0変換”のモジュールが開きます。

新しい辞書の作成

出荷時にはユーザ辞書および専門辞書は入っていません。必要に応じて作成してください。

1．パネル下部の“新規”をクリックします。

2．辞書名と、最大辞書サイズ（下記参照）を入力し、“ユーザ辞書”または“専門辞書”をクリックします。

3．“ＯＫ”をクリックします。

使用する辞書は必ずシステムフォルダの中のSystemと同じ階層に入れてください。

❖**参考**：辞書サイズは、最大50キロバイトまでです。

辞書を開く

登録した辞書を使用するには、まずその辞書を開きます。ユーザ辞書と専門辞書をそれぞれ１つずつ同時に開くことができます。

辞書ウインドウには、一度に辞書名を４つまで表示できます。４つ以上の辞書を登録してある場合には、右のスクロールバーで必要な辞書名を表示させます。

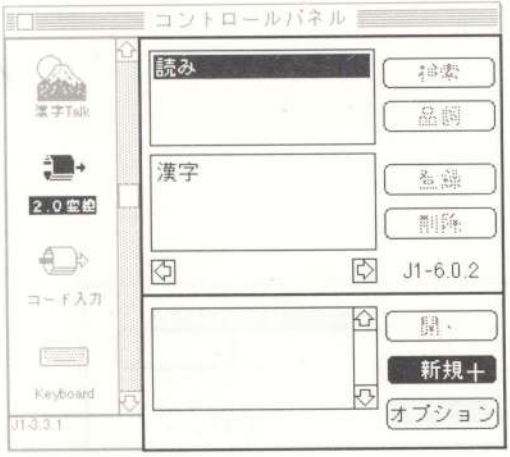
1．使用する辞書名をクリックします。

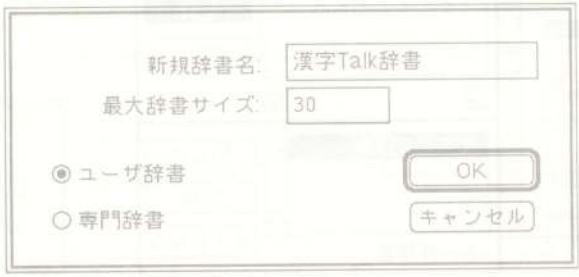
その辞書名が反転表示され、選択されたことを示します。

2．“開く”をクリックします。

“開く”の表示が“閉じる”に変わり、画面上の“検索”、“品詞”、“登録”が使用可能になります。

これで、辞書が使える状態になりました。





文字列の登録

よく使う単語や記号などに、短い読みをつけて登録しておくと便利です。登録できる文字列は最大32文字、読みは最大８文字までつけられます。

１．辞書を開きます。

２．読みを入力します。

“読み”と書かれた行が反転表示されます。登録する文字列の読みを入力ウインドウに入力し、リターンキーを押します。入力した読みが“読み”ボックスに表示されます。

３．登録したい文字列を入力します。

Tabキーを押すと、“漢字”と書かれた行が反転表示されます。登録したい文字列を入力ウインドウに入力し、リターンキーを押します。入力した文字が“漢字”ボックスに表示されます。

４．“品詞”をクリックします。

登録した文字列の種類を選択（□をクリック）し、“ＯＫ”をクリックします。

５．“登録”をクリックします。

これで、辞書に文字列と読みが登録されました。

続けて別の文字列を登録するには“漢字”ボックスと“読み”ボックスに表示されている文字列を消し、２．～５．の操作を繰り返します。同じ読みで、いくつかの文字列を登録することも可能です。

登録した文字列を削除するには登録が終了すると、“削除”が使用可能になります。次の“辞書の中身を検索する”に従って削除したい文字列を表示させ、“削除”をクリックします。

❖**参考**：外字を登録した後は“漢字”ボックスに登録した文字が表示されています。その文字に読みをつける場合は、“読み”ボックスに読みを入力し、“登録”をクリックします。読みをつけない場合は、“漢字”ボックスのその文字をクリックし、back spaceキーかdeleteキーを押します。

辞書の中身を検索する

読みを入力し、その読みで登録されている文字列を検索することができます。

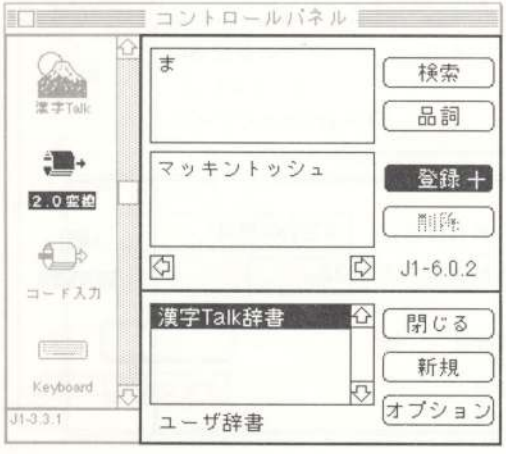
１．検索したい辞書を開きます。

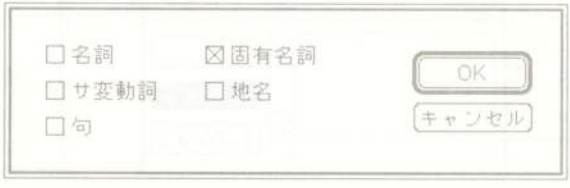
２．検索したい読みを“読み”ボックスに入力します。

３．“検索”をクリックします。

同じ読みで、複数の文字列が登録されているときには、ボックス下の矢印をクリックすると他の文字列も表示させることができます。

❖**注意**：文字列から読みを検索することはできません。





学習機能の設定

学習機能とは、文節の区切りの変更や、使った漢字を辞書に覚えさせ、次からは、その区切りや漢字が出るようになる機能です。これによって、使えば使うほど、使いやすい辞書になっていきます。学習機能はユーザ辞書が開いていないと使えません。

学習機能は次の手順で設定します。

1. **ユーザ辞書がない場合は、"新規"をクリックし辞書を作成しておきます。**
2. **ユーザ辞書名を選択し、"開く"をクリックします。**
3. **"オプション"をクリックします。**
4. **メッセージボックスの"学習機能"の左にある□をクリックし、☒にします。**

学習機能を解除するには"学習機能"の左の☒を再度クリックし、□に戻します。

基本辞書の設定

基本辞書には、かな漢字変換に必要な漢字や語句が入っています。漢字Talkは日本語を入力（かな漢字変換）するたびに基本辞書を参照します。このファイルがないと漢字Talkはかな漢字変換ができなくなります。基本辞書には外字や文字列の登録はできません。

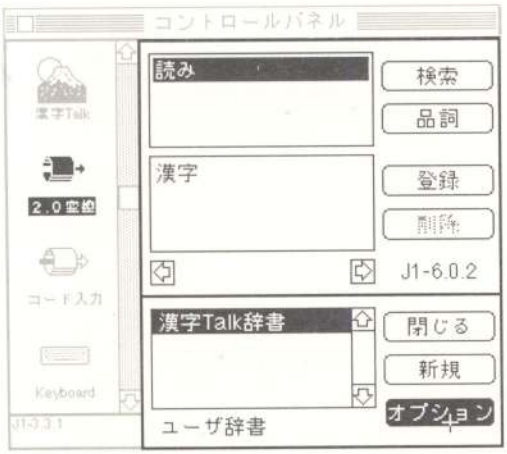
起動時に基本辞書がRAMにロードされるように設定しておくと、かな漢字変換のスピードが多少速くなります。通常はRAMにロードする必要はないでしょう。

マウスのポインタを"基本辞書をロード"の左の□に合わせてクリックすると、□と☒が切り替わります。

☒に設定すると、起動時に基本辞書ファイルがRAMメモリの中にロードされます。□に設定すると、かな漢字変換のたびにハードディスク上の基本辞書ファイルを参照します。

設定を変更した場合は、一度ファイルを閉じ、スペシャルメニューから"リスタート"を選び再起動してください。チェックボックスをクリックしただけでは設定は変わりません。

RAMメモリに余裕のある場合は基本辞書をロードするよう設定し、余裕のないときはディスク上のファイルを利用するように設定してください。



第 3 章

トラブルシューティング

漢字Talk6.0システムソフトウェアをお使いになるには、2Mバイト以上のRAMと外部または内部のハードディスクが必要です。

Macintosh用に開発されたアプリケーションであれば基本的に漢字Talkシステムで使用できるようになっていますが、アプリケーションの購入の際は、念のため販売店にご確認ください。

漢字Talkシステムを使用中にトラブルが起きた場合、まず下記の表にしたがって操作を行ってください。また、「Macintoshシステムソフトウェアガイド」の「トラブルシューティング」の項も参照してください。

問題	予想される原因	対策
フォントをロードできない。メニューやコマンド名が正しく表示されない。	ハードディスクに入れたフォントファイルがシステムフォルダ内にない。または、Systemファイルと違う階層にある。	使用するフォントファイルをシステムフォルダの中のSystemファイルと同じ階層にインストールして再起動してください。
	RAMキャッシュの設定が大きすぎる。	RAMキャッシュをOffにするか小さい値に設定して再起動してください。
日本語モード（●）なのに入力ウインドウにアルファベットが現われる。	漢字Talkのモードが〝コード入力〟になっている。	コントロールパネルを開いて漢字Talkのモードを〝2.0変換〟にして、〝現在〟をクリックします。
日本語モード（●）時、かなキーボードでアルファベットを入力できない。	かなキーボードでは日本語モード(●)でのアルファベット入力はできません。	スクリプトマネージャアイコンをクリックするか、コマンドキーを押しながらスペースバーを押して英語モード（◆）に切り替えます。
全角の句読点を単独で入力できない。	句読点は、入力ウインドウを通さずに直接書類上に入力すると英文のものになります。	オプションキーを押しながらKキーを押して入力ウインドウを表示し、入力してください。また、オプションキーを押しながらピリオド（.）で（。）、オプションキーを押しながらカンマ（,）で（、）を入力ウインドウと同時に表示することができます。

問題	予想される原因	対策
スペースバーを押しても変換されない。	〝を〟、〝っ〟などが、変換する語句の先頭に来たり、文法的に正しくない語句が入力された場合には変換されません。	正しく入力しなおしてください。
	入力モードが〝A〟表示になっている。	タブキーを押して〝あ〟モードにしてください。
	入力文字数が多すぎる。	backspaceまたはdeleteキーを押して入力文字数を少し減らしてください。
登録した語句や外字が変換されない。	登録したユーザ辞書が開かれていない。	コントロールパネルの〝2.0変換〟を使って辞書を開いてください。
旧バージョンの漢字Talkの書類を開いたときに文字化けする。	京都以外のフォントで日本語が入力されている。	文字化けしたテキストを選択し、字体（Font）メニューからKyotoを選んでください。
書類をプリントできない。	接続されているプリンタが選択されていない。	セレクタを使ってプリンタを指定してください。
	使用しているプリンタのドライバがシステムフォルダ内にない。	プリンタに対応するプリンタドライバをシステムフォルダにインストールしてください。
文字がきれいにプリントされない。	プリントに必要なフォントがインストールされていない。	書類の作成時に使用したフォントをインストールしてください。

付録A

フォントについて

Helvetica、Times、Genevaなどの欧文フォントは、通常Systemファイルに入れられており、Font/DA Moverを使用して自由に追加／削除できます。欧文で使用するキャラクタセットの数が少ないため、Systemファイルのサイズをそれほど大きくすることはありません。しかし、JIS第1水準/第2水準合わせて約7,000字の日本語を使用するとなると非常に大きなスペースを必要とします。このため、それらのセットが入ったファイルを別に用意しなければなりません。このファイルをフォントファイルと呼びます。これらの日本語フォントファイルは、起動ディスク上のシステムフォルダ内に入れて使用します。

漢字Talkの日本語フォント

大阪フォント

大阪フォントはゴシック体系のフォントです。各8ドット、12ドット、16ドットでで構成されており、大阪08Ｌ1、大阪08Ｌ2、大阪12Ｌ1/Ｌ2、大阪16Ｌ1/Ｌ2と名前が付けられています。Ｌ1/Ｌ2はそれぞれJIS第1水準/第2水準を表します。このフォントの大阪08Ｌ1、大阪12Ｌ1はシステムを起動し、メッセージやメニューを表示するために使用されるため必ずシステムフォルダにいれる必要があります。

京都フォント

京都フォントは明朝体系のフォントです。このフォントには24ドットのみのサイズが用意されています。

細明朝体／中ゴシック体フォント

このフォントは、ポストスクリプト(PostScript)プリンタフォント用のスクリーンフォントです。LaserWriter II NTX-Jと組み合わせることにより、非常に高品質の文字印字が可能です。もちろん、ImageWriterプリンタでも使用できますが、品質はあまり期待できません。このフォントは、インストーラディスクのカスタマイズ機能を使ってインストールします。この後の「細明朝体／中ゴシック体のインストール」をご覧ください。

❖**注意**：Macintosh SEまたはIIをお持ちの方で、フォントカードを使用している方は、上記の京都／大阪フォントファイルを入れる必要はありません。この場合、システムソフトウェアをインストールした後、システムフォルダからファイルを削除してください。

細明朝体／中ゴシック体フォントのインストール

細明朝体／中ゴシック体のフォントのインストールには、インストーラディスクのカスタマイズ機能を利用します。

フォントファイルは、フォントディスクからドラッグしてコピーすることもできますが、初めてこれらのフォントをインストールするときは必ずインストーラディスクをご使用ください。コピーしただけではフォントを使用することはできません。

1．**すでにMacintoshに電源が投入されている場合、スペシャルメニューから“終了”を選びます。**

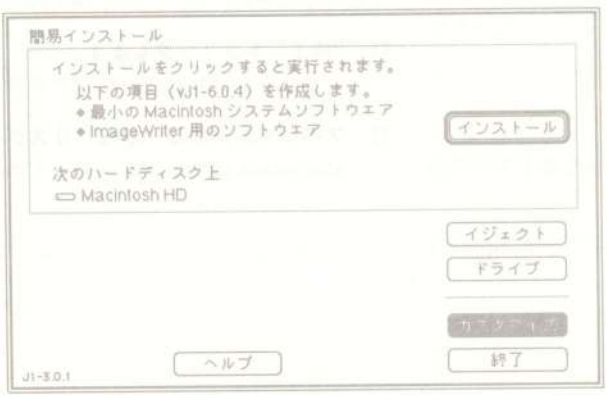
2．**Macintoshのフロッピードライブに「インストーラディスク」をセットし、Macintoshを再起動させます。**
しばらくすると、デスクトップが表示されます。

3．**インストーラディスクのアイコンを選択して開きます。**
インストーラディスクの内容がウインドウ表示されます。

4．**インストーラのアイコンを選択して開きます。**
まもなくInstallerの起動メッセージが表示されます。

5．**起動メッセージをお読みになった後、“OK”ボタンをクリックします。**
簡易インストール用のダイアログボックスが現れます。

6．**“カスタマイズ”ボタンをクリックします。**



8．フォントのインストール先となるディスクを選択します。

ディスクアイコンの右側には、現在選択されている（つまり、これから行なうインストールの対象となる）ディスクの名称が表示されます。ここに目的のディスク名が表示されていない場合、“ドライブ”ボタンをクリックしてディスクを切り替えてください。ディスクの名称はボタンをクリックする度に変化し、システムで使用可能な全ディスクの名称が順に表示されます。目的のディスクを通り過ぎた場合、繰り返しクリックすれば、表示は最初のディスクに戻ります。

9．“細明朝体／中ゴシック体／大阪８Ｌフォント”を選びます。

10．“インストール”ボタンをクリックします。

インストール中は、その進行状況を示すダイアログボックスが表示されます。その後、インストールの進行につれてコピーされているファイル（フォント）の名称が次々と表示されます。

インストールが完了すると、Installerはメッセージを表示し、さらに別なディスクにシステムソフトウェアをインストールするかどうかの確認を求めてきます。さらに別のディスクにインストールを行ないたい場合、“続ける”をクリックしてください。

11．“終了”をクリックします。

スクリーンはInstallerからデスクトップへ戻ります。

12．スペシャルメニューから“リスタート”を選びます。

Macintoshはフロッピーディスクを全てイジェクトし、再起動します。

付録B

漢字Talkショートカット

下記のショートカットは全て日本語モード（●）のときに使用できるものです。

動作	キー操作	マウス操作
入力ウインドウのモードを切り替える	tab	—
入力ウインドウを表示する	option-K	—
日本語／英語（環境）モードを切り替える	アップル（コマンド）-space bar	スクリプリマネージャ(●または◆)をクリック
入力ウインドウの文字を一字ずつ削除する	backspaceまたはdelete	—
入力ウインドウの文字を全て消す	clear	—
かな漢字変換をする	space bar	—
変換された語句の選択部分を〝右〞へ移動する	L	目的の語句をクリック
変換された語句の選択部分を〝左〞へ移動する	J	目的の語句をクリック
文節区切りを短縮する	shift-J（または←）	—
文節区切りの位置を延長する	shift-L（または→）	—
候補ウインドウを表示する	space bar	入力ウインドウにある目的の漢字をダブルクリック
次候補ウインドウを表示する	K	—
前候補ウインドウを表示する	I	—
候補ウインドウ内の字の選択を〝右〞に移す	L	目的の文字をクリック
候補ウインドウ内の字を選択〝左〞に移す	J	目的の文字をクリック

下記ショートカットは全て日本語モード（●）のときに使用できるものです。

動作	キー操作	マウス操作
候補の確認	return	確定する文字をダブルクリック
入力ウインドウ内でスペースを挿入する	option-space barまたは〝A〟モードでspace bar	−
候補ウインドウをキャンセルする	backspaceまたはdelete	−
単漢字変換を指定する	option-space bar	−
半角ローマ字に変換する	enter（〝A〟モードで）	−
全角ローマ字に変換する	enter（〝A〟モードで）	−
半角カナに変換する	enter（〝あ〟、〝ア〟モードで）	−
全角カナに変換する	enter（〝あ〟、〝ア〟モードで）	−
カタカナをひらがなに変換する	enter（〝あ〟、〝ア〟モードで）	−
ひらがなをカタカナに変換する	enter（〝あ〟、〝ア〟モードで）	−
カナの長音記号	option-ハイフン（−）	−
中黒点（・）	option-shift-ピリオド（.）	−
句読点（。）	option-ピリオド（.）	−
句読点（,）	option-カンマ（,）	−
カギかっこ（「）	option-［	−
カギかっこ(」)	option-］	−

付録C

ローマ字変換表

あ行	あ A	い I	う U	え E	お O
か行	か KA	き KI	く KU	け KE	こ KO
さ行	さ SA	し SI SHI	す SU	せ SE	そ SO
た行	た TA	ち TI CHI	つ TU TSU	て TE	と TO
な行	な NA	に NI	ぬ NU	ね NE	の NO
は行	は HA	ひ HI	ふ HU FU	へ HE	ほ HO
ま行	ま MA	み MI	む MU	め ME	も MO
や行	や YA		ゆ YU	いぇ YE	よ YO
ら行	ら RA LA	り RI LI	る RU LU	れ RE LE	ろ RO LO
わ行	わ WA	ゐ WI	う WU	ゑ WE	を WO
ん行	ん NN				
が行	が GA	ぎ GI	ぐ GU	げ GE	ご GO
ざ行	ざ ZA	じ ZI JI	ず ZU	ぜ ZE	ぞ ZO

だ行	だ DA	ぢ DI	づ DU	で DE	ど DO
ば行	ば BA	び BI	ぶ BU	べ BE	ぼ BO
ぱ行	ぱ PA	ぴ PI	ぷ PU	ぺ PE	ぽ PO
くぁ行	くぁ QA	くぃ QI	くぅ QU	くぇ QE	くぉ QO
でゃ行	でゃ DHA	でぃ DHI	でゅ DHU	でぇ DHE	でょ DHO
ヴぁ行	ヴぁ VA	ヴぃ VI	ヴ VE	ヴぇ VE	ヴぉ VO
きゃ行	きゃ KYA	きぃ KYI	きゅ KYU	きぇ KYE	きょ KYO
しゃ行	しゃ SYA SHA	しぃ SYI	しゅ SYU SHU	しぇ SYE SHE	しょ SYO SHO
ちゃ行	ちゃ TYA CHA	ちぃ TYI	ちゅ TYU CHU	ちぇ TYE CHE	ちょ TYO CHO
にゃ行	にゃ NYA	にぃ NYI	にゅ NYU	にぇ NYE	にょ NYO
ひゃ行	ひゃ HYA	ひぃ HYI	ひゅ HYU	ひぇ HYE	ひょ HYO
ふぁ行	ふぁ FA	ふぃ FI		ふぇ FE	ふぉ FO
ぴゃ行	ぴゃ PYA	ぴぃ PYI	ぴゅ PYU	ぴぇ PYE	ぴょ PYO

みゃ行	みゃ MYA	みぃ MYI	みゅ MYU	みぇ MYE	みょ MYO
りゃ行	りゃ RYA	りぃ RYI	りゅ RYU	りぇ RYE	りょ RYO
ぎゃ行	ぎゃ GYA	ぎぃ GYI	ぎゅ GYU	ぎぇ GYE	ぎょ GYO
じゃ行	じゃ ZYA JA	じぃ ZYI JYI	じゅ ZYU JU	じぇ ZYE JE	じょ ZYO JO
ぢゃ行	ぢゃ DYA	ぢぃ DYI	ぢゅ DYU	ぢぇ DYE	ぢょ DYO
びゃ行	びゃ BYA	びぃ BYI	びゅ BYU	びぇ BYE	びょ BYO
ぁ行	ぁ XA	ぃ XI	ぅ XU	ぇ XE	ぉ XO
ゃ行	ゃ XYA		ゅ XYU		ょ XYO
っ行			っ XTU		

付録D

記号入力および JIS漢字区点コード表

記号入力

以下の記号は、2.0変換のかな漢字変換で入力できるものです。

入力文字	変換可能な記号
きごう	々〆〻ゝゞヽヾ〒℃※ー－・／＼～‖｜＋－±×÷＝¯≠ 仝＜＞≦≧∞∴♂♀°′″￥＄％＃＆＊＠§＿○〓
やじるし	→←↑↓
しかく	□■◇◆
まる	◎●○
ほし	★☆
てん	‐゛゜ヽ、……。，．・：；？！´｀

オプションキャラクタ

2.0変換では、オプションキーを利用して以下の記号の入力ができます。これらは日本語モード（●）のときのみ使用できます。オプションキーを押したまま、下記の表にあるキーボード上のキーを押して入力します。記号によっては、一旦入力ウインドウ内に表示されるものもあるので、リターンキーを押して書類上に入力してください。また、数字キーの場合、キーボード右側にあるテンキーとの組み合わせはできません。

例：オプションキー＋Y＝¥

キーボード	オプションキャラクタ	キーボード	オプションキャラクタ
～	` *	T	ˇ
3	™	;	…
−	ー（長音記号）*	G	©*
[	「*	S	◆
]	」*	,	、*
Y	¥*	.（ピリオド）	。*
Q	⌘	／	＼
R	✓	シフトキー＋.（ピリオド）	・（中黒点）*

＊印の記号は、入力ウインドウ内に表示されます。

参考 アプリケーション内で英語モード（◆）で、英文のフォントを使用している場合のオプションキャラクタについては「Macintoshシステムソフトウェアガイド」の「オプションキャラクタ」の項を参照してください。

JIS第一水準漢字区点コード表

本付録は、JIS第一水準および第二水準の漢字をJIS区点番号順に配列したものです。第二水準では、部首別の画数順に配列されています。

区　点

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
記号	010			、	。	，	．	・	：	；	？
	011	！	゛	゜	´	｀	¨	^	￣	_	ヽ
	012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
	013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
	014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
	015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
	016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
	017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
	018	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
	019	★	○	●	◎	◇					
	020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
	021	→	←	↑	↓	＝					
	022							∈	∋	⊆	⊇
	023	⊂	⊃	∪	∩						
	024			∧	∨	¬	⇒	⇔	∀	∃	
	025										
	026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
	027	∽	∝	∵	∫	∬					
	028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
	029			◣		◯					
英数字	031							0	1	2	3
	032	4	5	6	7	8	9				
	033				A	B	C	D	E	F	G
	034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
	035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
	036						a	b	c	d	e
	037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
	038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
	039	z									

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ひらがな	040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
	041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
	042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
	043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
	044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
	045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
	046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
	047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
	048	ゐ	ゑ	を	ん						
カタカナ	050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
	051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
	052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
	053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
	054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
	055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
	056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ		ヤ	ュ
	057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
	058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
ギリシャ文字	060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
	061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
	062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
	063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
	064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
	065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ロシア文字	070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
	071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
	072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
	073	Ь	Э	Ю	Я						
	074										a
	075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
	076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
	077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	078	ю	я								
罫線	080										
	081										
	082										
	083										
縦書き用文字	110										
	111										
	112										
	113										
	114										
	115										
	140		あ		い		う		え		お
	143						つ				
	146								や		ゆ
	147		よ							わ	
	150		ア		イ		ウ		エ		オ
	153						ツ				
	156								ヤ		ユ
	157		ヨ							ワ	
	158						カ	ケ			

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
あ	160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
	161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
	162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
	163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
	164	鞍	杏								
い	164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
	165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
	166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
	167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
	169	引	飲	淫	胤	蔭					
	170		院	陰	隠	韻	吋				
う	170							右	宇	烏	羽
	171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
	172	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
	173	云	運	雲							
え	173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
	174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
	175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
	176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
	177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お	178								於	汚	甥
	179	凹	央	奥	往	応					
	180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
	181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
	182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
か	182									下	化
	183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
	184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
	185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
	186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
	187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
	189	恢	懐	戒	拐	改					
	190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
	191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
	192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
	193	馨	蛙	垣	柿	蠣	鈎	劃	嚇	各	廓
	194	拡	攪	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
	195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
	196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	渇	割	喝
	197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竈	蒲	釜	鎌
	199	噛	鴨	栢	茅	萱					
	200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
	201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
	202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
	203	款	歓	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看
	204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
	205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
	206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
	207	贋	雁	頑	顔	願					
き	207						企	伎	危	喜	器
	208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
	209	旗	既	期	棋	棄					
	210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
	211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
	212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
	213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
き	214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
	215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
	216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
	217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
	219	禦	魚	亨	享	京					
	220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
	221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
	222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
	223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
	224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
	225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
	226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く	226										九
	227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
	228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
	229	串	櫛	釧	屑	屈					
	230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
	231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
	232	郡									
け	232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
	233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
	234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
	235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頸
	236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
	237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
	239	建	憲	懸	拳	捲					
	240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
	241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
さ	270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
	271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
	272	惨	撒	散	桟	叱	珊	産	算	纂	蚕
	273	讃		賛	酸	餐	斬	暫	残		
し	273								仕	仔	伺
	274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
	275	子	屍	市	師	志	思	指	支	次	斯
	276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
	277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	278	諮	資	寺	慈	持	歯	事	似	侍	児
	279	字		次	滋	治	璽	痔	磁	示	而
	280		耳	自	蒔	辞	汐	式	識	鳴	竺
	281	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
	282	湿	漆	疾	質	実	鄙	篠	偲	柴	芝
	283	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
	284	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
	285	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
	286	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	287	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
	288	綬	需	囚	収	周					
	289		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
	290		繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	誉	蹴
	291	終	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
	292	輯	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
	293	従	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
	294	夙	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
	295	述	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
	296	旬	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
	297	醇	書	薯	蔗	諸	助	叙	女	序	徐
	298	署	鋤	除	傷	償					
	299	恕		匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
	300		勝	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
	301	妾	娼								

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
け	242	瞼	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
	243	絃	舷	言	諺	限					
こ	243						乎	個	古	呼	固
	244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
	245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
	246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
	247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	248	乞	鯉	交	交	侯	候	倖	光	公	功
	249	効	勾	厚	口	向					
	250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
	251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
	252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
	253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
	254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
	255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
	256	礦	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
	257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	骸
	259	忽	惚	骨	狛	込					
	260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
	261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ	261										些
	262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
	263	詐	鎖	座	坐	座	挫	債	催	再	最
	264	哉	塞	才	宰	彩	才	採	栽	歳	済
	265	災	采	妻	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
	266	載	際	犀	在	材	罪	財	冴	坂	阪
	267	堺	榊	剤	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	268	咋	搾	肴	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
	269	鮭	笹	匙	冊	刷					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
し	302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
	303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
	304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
	305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
	306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
	307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
	309	醸	錠	嘱	埴	飾					
	310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
	311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
	312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
	313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
	314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
	315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靱		
す	315									筍	諏
	316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
	317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
	318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
	319	椙	菅	頗	雀	裾					
	320		澄	摺	寸						
せ	320									凄	制
	321	勢	姓	征	性	世	瀬	畝	是	晴	棲
	322	栖	正	清	牲	成	政	整	星	声	製
	323	西	誠	誓	請	生	盛	精	聖	斉	税
	324	脆	隻	席	惜	逝	醒	青	静	石	積
	325	籍	績	脊	責	戚	斥	昔	析	切	拙
	326	接	摂	折	設	赤	跡	蹟	硕	絶	舌
	327	蝉	仙	先	千	窃	節	説	雪	川	戦
	328	扇	撰	栓	栴	占	宣	専	尖	潜	煎
	329	煽	旋	穿	箭	煽	浅	洗	染		
	330		繊	羨	腺	線				賤	践

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
せ	331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
	332	全	禅	繕	膳	糎					
そ	332						噌	塑	岨	措	曾
	333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
	334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
	335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
	336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
	337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
	339	霜	騒	像	増	憎					
	340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
	341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
	342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た	343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
	344	柁	舵	楕	陀	駄	駝	体	堆	対	耐
	345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
	346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
	347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
	349	諾	茸	凧	蛸	只					
	350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
	351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
	352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
	353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
	354	暖	檀	段	男	談					
ち	354							値	知	地	弛	恥
	355	智	池	辻	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
	356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
	357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ち	358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
	359	丁	兆	凋	喋	寵					
	360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
	361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
	362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
	363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ	363								津	墜	椎
	364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
	365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
	366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て	366							亭	低	停	偵
	367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
	368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
	369	艇	訂	諦	蹄	逓					
	370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
	371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
	372	鉄	典	塡	天	展	店	添	纏	甜	貼
	373	転	顚	点	伝	殿	澱	田	電		
と	373									兎	吐
	374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
	375	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴
	376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
	377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	樋	棟
	378	盗	淘	湯	濤	灯	燈	当	痘	禱	等
	379	答	筒	糖	統	到					
	380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
	381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
	382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
	383	鴇	匿	得	徳	瀆	特	督	禿	篤	毒

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
と	383	鴇	匿	得	徳	瀆	特	督	禿	篤	毒
	384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
	385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
	386	頓	呑	曇	鈍						
な	386					奈	那	内	乍	凪	薙
	387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	388	軟	難	汝							
に	388				二	尼	弐	邇	匂	賑	肉
	389	虹	廿	日	乳	入					
	390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ	390									濡	
ね	390										禰
	391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
	392	粘									
の	392									納	能
	393	脳	膿	農	覗	蚤					
			乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃		
は	393										杷
	394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
	395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
	396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
	397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剝	博	拍
	398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
	399	爆	縛	莫	駁	麦					
										把	播	覇	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
い	400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
	401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
	402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
	403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
	404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
	405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ	405										匪
	406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
	407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
	409	枇	毘	琵	眉	美					
	410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
	411	肘	弼	必	畢	筆	逼	檜	姫	媛	紐
	412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
	413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
	414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
	415	敏	瓶								
ふ	415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
	416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
	417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
	419	伏	副	復	幅	服					
	420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
	421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
	422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ	422							丙	併	兵	塀
	423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
	424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
	425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
へ	426	鞭									
ほ	426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
	427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
	429	抱	捧	放	方	朋					
	430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
	431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
	432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
	433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
	434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
	435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
	436	本	翻	凡	盆						
ま	436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
	437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
	439	繭	麿	万	慢	満					
	440		漫	蔓							
み	440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
	441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む	441										務
	442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め	442										冥
	443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
	444	免	棉	綿	緬	面	麺				

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
も	444							摸	模	茂	妄
	445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
	446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
	447	紋	門	匁							
や	447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
	448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
	449	鑓									
ゆ	449		愉	愈	油	癒					
	450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
	451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
	452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
よ	452										予
	453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
	454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
	455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遙	陽
	456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
ら	456										羅
	457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
	458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
り	458									利	吏
	459	履	李	梨	理	璃					
	460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
	461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
	462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
	463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
り	464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
	465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
る	466	瑠	塁	涙	累	類					
れ	466						令	伶	例	冷	励
	467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
	468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
	469	漣	煉	簾	練	聯					
	470		蓮	連	錬						
ろ	470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
	471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
	472	牢	狼	籠	老	聾	蠟	郎	六	麓	禄
	473	肋	録	論							
わ	473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
	474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
	475	碗	腕								

JIS第二水準漢字区点コード表

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
一	480			弍	丐	丕					
丨	480						个	丱			
丶	480							丶	丼		
丿	480									丿	乂
	481	乖	乘								
乙	481				亂						
亅	481						亅	豫	事	舒	
二	481									弍	仄
	482	亟									
亠	482			亠	亢	亰	亳	亶			
人(亻)	482							从	仍	仄	佛
	483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	佩	佰
	484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	佗	佻	侔	佾
	485	侑	佯	來	侖	侘	侃	侯	俎	俱	倥
	486	倆	倶	倩	倬	倖	倚	倨	倔	倆	倆
	487	倅	倅	倣	倡	倩	倬	俾	俯	倦	倫
	488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖		
	489	傀	傚	傅	傴	傲					
	490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
人(亻)	491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
	492	儡	儺	儷	儼	儻					
儿	492						儿	兀	兒	兌	兔
	493	兢	競								
入	493			兩	兪						
八	493					兮	冀				
冂	493							冂	冏	冊	冉
	494	冏	冑	冓	冕						
冖	494					冖	冤	冠	冢	冩	冪
冫	495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
几	496	几	處	凩	凭	凰					
凵	496						凵	函			
刀	496								刃	刋	刈
	497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
	498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	劀	劍	劒
	499	劔	劒	劈	劑	辨					
	500		辦								

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
力	500			劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
	501	勣	勳	勠	勦	勳	勵	勸			
勹	501								勹	匆	匈
	502	匍	匐	匐	匏						
匕	502					匕					
匚	502						匚	匣	匯	匱	匳
匚	503	匚	區								
十	503				卆	卅	卌	卉	卍	準	
卜	503									卞	
卩(㔾)	503										卩
	504	卮	卯	卻	卷						
厂	504					厂	厄	厠	厦	厥	厭
	505	厳									
ム	505		ム	參	篡						
又	505					雙	叟	曼	燮		

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
口	505									叮	叨
	506	叭	叺	吁	吋	呀	听	吭	吼	吮	吶
	507	吩	含	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
	508	咒	呻	咀	呪	咄	咐	咆	哇	唸	咸
	509	哇	咬	哄	哈	咨					
	510		咫	哂	咤	唾	咼	唁	哥	哦	唏
	511	唔	哽	唼	哭	哺	唷	唘	啀	啣	唾
	512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	唧	喙	喀
	513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
	514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嘆
	515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
	516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	噺
	517	噂	噙	劇	噓	噫	噛	噑	響	嚶	嚴
	518	囁	囃	囀	囀	囈	囎	囑	囓		
口	518									口	囘
	519	囹	圀	囿	圃	圉					
	520		圈	國	圍	圓	團	圖	嘗	圜	
土	520										圻
	521	坏	坩	坎	坼	址	坏	坩	垂	埜	坡
	522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垉	埃	埒
	523	埔	埒	埒	埜	垉	埣	堋	堙	堝	塲
	524	堡	塢	塋	塹	毀	塒	堲	塹	墅	壜
	525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
	526	壷	壙	壘	壜	壘	壌	壟			
士	526								壯	壺	壹
	527	壻	壹	壽							
夂	527					夂					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
夂	527					夂	夐				
夕	527							夛	梦	夥	
大	527										夬
	528	夭	本	夸	夾	奇	奕	奐	奎	奚	奘
	529	奢	奠	奧	奬	奩					
女	530		奸	妁	妝	佞	佞	妣	妲	姆	姨
	531	姜	妍	姓	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
	532	婀	婬	婉	婀	娶	婢	婪	媚	媼	嫮
	533	嫝	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫻	嫻
	534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	嬢	孅
	535	孀									
子	535		孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
	536	學	孜	孺							
宀	536				宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
	537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
	538	寳									
寸	538		尅	將	專	對					
小	538						尒	尠			

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
尢・尣・元	538								尢	尨	
尸	538										尸
	539	尹	屁	屆	屎	屓					
	540		屐	屏	孱	屬					
屮	540					屮					
山	540							屺	岑	屹	峩
	541	岑	岔	岩	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
	542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嵎	峪	崋	崖
	543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
	544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵽	嵷	嶄	嶂
	545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶸	嶷	嶼	嶾	巍
	546	巓	巒	巖							
巛(川)	546					巛					
工	546						巫				
已	546							已	巵		
巾	546									帋	帚	帙
	547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
	548	幟	幢	幣	幇						
干	548						幵	并			

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
心(忄・⺗)	555					忖	忻	忤	忸	忱	忝
	556	悳	忿	怡	恠	怙	怩	怎	怱	怛	
	557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恣	悁
	558	協	恆	恍	恣	恃	恤	悀	恬	恫	恙
	559	悁	悍	惧	悃	悚					
	560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	悪	悸
	561	悳	悗	悴	悋	悽	惆	悵	惘	慍	愕
	562	愆	惶	憃	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
	563	愍	愎	慇	愾	慥	愧	慊	愿	愼	愬
	564	愴	愽	慆	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
	565	慴	慱	慥	慱	慟	慝	慓	慵	慹	憖
	566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
	567	應	懷	懈	懃	懆	懺	懋	戄	戞	戮
	568	瀁	懶	懺	戁	戀	戇	戉	戝	戛	戀
戈	568										戈
	569	戉	戍	戌	戔	戛					
	570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳		
戸	570									扁	
手(扌)	570										扎
	571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	扡	抉	找	抒
	572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
	573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
	574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拾	拵	捐	挾
	575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
	576	掉	掟	掄	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
	577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
	578	攝	搗	揖	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
	579	撓	撥	撩	撈	撼					
	580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
幺	548							幺	麼		
广	548										广
	549	廁	廂	廈	廐	廏					
	550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
	551	廬	廱	廳	廰						
廴	551						廴	廸			
廾	551								廾	弃	弄
	552	弊									
弋	552			弋	弒						
弓	552					弓	弩	弭	弸	弼	彈
	553	彎	彑								
彑(⺕・⺕)	553				彑	彖	彗	彙			
彡	553								彡	彭	
彳	553										彳
	554	徃	徂	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙
	555	徠	徨	徭	徼						

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
手(扌)	581	擧	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擷	擴	擲
	582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	
支(攵)	582										支
	583	攵	攻	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	斂
	584	敞	敵	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	
斤	584										斫
	585	斷									
方	585			旆	旆	旁	旄	旌	旋	旛	旙
无(旡)	585										无
	586	旡									
日	586			旱	杲	昊	昃	昊	杳	昵	昶
	587	昜	晏	晄	晉	晃	晞	晝	晤	晧	晨
	588	晟	晢	晰	晁	暈	暎	暉	暄	暘	暝
	589	暨	暹	曉	曖	曙					
	590		曄	曠	曖	曚	曠	昡	曦	曩	
曰	590										曰
	591	曳	曷								
月	591				朏	朖	朞	朦	朧	霸	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
木	591									朮	朿
	592	朵	杁	朽	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
	593	杜	杰	杼	杪	杤	杭	杩	枅	枒	
	594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
	595	柢	柮	枹	桁	柆	柧	桧	栞	框	栩
	596	桀	桍	栲	桎	梳	栴	桾	档	桷	桿
	597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
	598	梵	梧	桻	梱	桾	椁	梓	棊	椋	棘
	599	棡	棹	棡	棡	棍					
	600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
	601	棹	棠	棯	椯	椪	椚	椣	椁	棆	楹
	602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
	603	楙	椰	楡	楞	楝	榼	榠	榲	榮	槐
	604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	榻	槲	槃
	605	榠	梗	槫	榠	榜	榕	榴	槞	榔	樂
	606	樛	槿	權	槔	樹	槧	樅	榱	樞	槭
	607	樔	槫	樊	榕	槾	樣	樓	橄	檟	橲
	608	橦	橘	橤	橢	橙	橦	橈	樸	檎	檐
	609	檍	檠	檄	檢	檣					
	610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫟
	611	櫑	櫟	櫟	櫚	櫪	欅	欅	蘗	櫺	欒
	612	欖	鬱	欟							
欠	612				欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
	613	歎	歐	歙	歔	歛	歟	歡			
止	613								歸		
歹(歺)	613									歹	歿
	614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
	615	殯	殲	殱							

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
殳	615				殳	殷	殼	毆			
毋	615								毋	毓	
毛	615										毫
	616	毬	毫	毳	毯	毳	氈				
氏	616							氓			
气	616								气	氛	氤
	617	氣									
水(氵・氺)	617		汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
	618	汾	汨	汳	汲	沐	泄	泱	泓	沽	泗
	619	泅	泝	沮	沱	沾					
	620		沺	泛	泯	泙	泪	洩	衍	洶	洫
	621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浹
	622	浚	浹	浙	涎	涕	涛	涅	淹	渕	渊
	623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
	624	淅	淺	淙	淤	淥	淪	淮	渭	湮	渮
	625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
	626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
	627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
	628	溥	滂	溟	顙	漑	漙	滬	滸	滾	漿
	629	滲	漱	滯	漲	滌					
	630		漾	漓	滷	澆	潺	潛	澁	澀	潯
	631	潛	潛	潭	澈	潼	潘	澎	潇	濂	潦
	632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
	633	瀏	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
水(氵・氺)	634	瀏	濾	瀛	瀚	瀦	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
	635	瀲	灑	灣							
火(灬)	635				炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
	636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
	637	煕	熙	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
	638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
	639	燠	燬	燧	燵	燼					
	640		燹	燿	爍	爐	爛	爨			
爪	640								爭	爬	爰
	641	爲									
爻	641		爻	爼							
爿	641				爿	牀	牆				
片	641							牋	牘		
牛(牜)	641									牴	牾
	642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧			
犬(犭)	642								犹	犲	狃
	643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
	644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
	645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獣	獵	獻
	646	獺									

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
玉(王)	646		珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
	647	琅	琊	琥	琣	琲	琺	琿	瑟	瑙	瑛
	648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑤	瑾	璋	璞
	649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
瓜(瓜)	650		瓠	瓣							
瓦	650				瓩	瓧	瓮	甌	甑	甍	甌
	651	瓷	甄	甕	甎	甌	甎	甍	甕	甓	
甘	651										甞
生	652	甦									
用	652		甬								
田	652			畢	畄	畋	畊	畉	畛	畝	畚
	653	畎	畤	畧	畫	畛	畸	當	疆	疇	畴
	654	疊	疂	疂							
疒	654				疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
	655	痃	痂	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
	656	痣	痞	痾	痿	痼	痒	痰	痺	痲	痳
	657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘡	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
	658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癘	癘	癡	癢	癨
	659	癩	癪	癰	癬	癶					
	660		癲								

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
癶	660			癶	癸	發					
白	660						皂	皃	皈	皐	皎
	661	皖	皓	晢	皚						
皮	661					皰	皴	皺	皹	皺	
皿	661										盂
	662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	
目(四)	662										盼
	663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	昧	眷
	664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
	665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
	666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚				
矛	666						矜				
矢	666								矣	矮	
石	666										矼
	667	砌	砒	砿	砠	砺	硅	硼	硫	碆	硼
	668	碚	碌	碣	碵	碪	磆	磴	磆	磋	碟
	669	碾	碼	磅	磊	磬					
	670		磧	磚	磽	磴	磯	磧	礒	礙	礬
	671	礫									

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
示(礻)	671		祀	祠	祇	崇	祚	祕	祓	祺	祿
	672	禊	禊	禧	齋	禪	禮	禳			
禸	672								禹	禺	
禾	672										秉
	673	秕	秩	秬	秡	秣	秤	稍	稘	稙	稠
	674	稟	稟	稱	稲	稾	稷	稔	穂	穐	穉
	675	穢	穏	穡	穫						
穴	675					穹	窄	窃	窗	窕	窘
	676	窖	窩	竈	窯	窶	竅	竊	窿	窪	竇
	677	竊									
立	677		竚	竡	竚	竕	竝	竚	竝	竡	竢
	678	竦	竭	竰							
竹	678				笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
	679	笞	笵	笨	笶	筐					
	680		筐	笄	荀	笋	筌	笵	筵	筥	筴
	681	筧	筰	筱	箴	箸	箘	箟	箍	箱	箸
	682	箚	箋	箒	箏	箙	篋	篁	篌	篏	
	683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	篭	簀
	684	簇	簀	篳	篷	簗	簍	篶	簧	簀	簪
	685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	簇	籀	籐
	686	籐	籟	籤	籤	籥	籬				
米	686							粁	粗	粐	粤
	687	粭	粲	粨	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
米	688	粽	糀	糅	糘	糘	糯	糜	糢	糲	糯
	689	糲	糴	糶							
糸	689				糺	紆					
	690		紂	紜	紕	紊	紬	紘	紮	紲	紿
	691	紵	紲	紳	統	紡	絲	絨	絮	絏	絣
	692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
	693	緇	綽	綫	總	綢	綯	綜	綸	綟	綰
	694	緘	緝	緤	緞	緻	緋	緕	緘	縣	
	695	緙	緩	縱	縉	縮	縋	縢	繆	繩	縻
	696	繾	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
	697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	繿	繧	繽
	698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纈	纓	纖	纖
	699	纎	纛	纜							
缶	699				缸	缺					
	700		罅	罌	罎	罐					
网(罒)	700						冏	罕	罔	罘	
	701	罟	罠	罨	罩	罫	罰	罸	罷	罵	罹
	702	羈									
羊	702			羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲
	703	羹	羶	羸	譱						
羽	703					翅	翠	翊	翕	翔	翡
	704	翫	翩	翳	翹	翻					
老(耂)	704						者	耄	耋		

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
耒	704									耒	耘
	705	耙	耜	耡	耨						
耳	705					耿	耻	聊	聆	聒	聘
	706	聚	聟	聡	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
聿	707	聿	肄	肆	肅						
肉(月)	707					肛	肓	肚	肭	冐	肬
	708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
	709	脛	脩	脣	脯	腋					
	710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
	711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
	712	膣	膤	膵	膸	膰	膵	膾	膸	膽	臀
	713	臂	臈	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
	714	臠									
臣	714		臧								
至	714			臺	臻						
臼	714					臾	舁	舂	舅	與	舊
舌	715	舎	舐	舗							
舟	715				舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
	716	艝	艚	艟	艤	艦	艨	艚	艫	艇	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
艮	716										艱
色	717	艶									
艸(艹・艹)	717		艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
	718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	荇	苹
	719	苞	茆	苜	茉	苙					
	720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
	721	茯	茫	茗	荔	莅	莚	莪	莟	莢	莖
	722	莫	莎	莇	莊	莽	莵	莹	莞	莠	莉
	723	莨	菴	萓	菫	菎	萩	萃	菘	蓁	菁
	724	萠	萇	菠	菲	萍	菢	萠	莽	萸	蔆
	725	萩	葭	葎	萼	萼	蒄	葷	葫	蒡	葭
	726	蒂	葩	葆	萬	葯	葩	萵	蓊	葢	蒹
	727	蒿	蒟	蓙	蓍	蓊	蓚	蔀	蓁	蓆	蒪
	728	蓑	蔡	蓿	蓴	蔗	蓼	蔬	蔟	蒂	蔔
	729	蓼	蘇	葬	堯	蕈					
	730		蕚	蕖	蕘	蕕	薀	薙	薈	薑	薊
	731	薨	薫	薔	薛	藪	薇	薜	薐	蕾	薮
	732	藉	薺	藏	藎	藐	藕	藝	藥	藜	藹
	733	蘊	蘓	蘋	藾	蘭	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
虍	734	虎	虍	虔	號	虧					
虫	734						虱	蚓	蚣	蚩	蚪
	735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
	736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
	737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蝣	蜹	蜥	蜴	蜿
	738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
	739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
	740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
虫	741	螽	蟀	蟐	雖	螯	螫	螳	螽	蟆	螻
	742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠑	蠑
	743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠱	蠱	蠶	蠹	蠹	蠻
血	744	衄	衂								
行	744			衒	衙	衛	衢				
衣(衤)	744							衫	袁	衾	衰
	745	袒	袵	袒	納	袂	袗	袒	袮	袹	袢
	746	袍	袤	袰	袿	袱	袴	裄	裔	裘	裙
	747	裝	裏	裟	裼	裴	裨	裲	裾	裨	裲
	748	裸	裹	褞	褥	褪	褫	褦	襄	褻	褶
	749	褸	褝	褝	襠	襞					
	750		襦	襤	襪	襪	襯	襴	襷		
西(襾)	750									西	覃
	751	覈	覊								
見	751			覓	覗	覘	覩	覦	覬	覯	覲
	752	覺	覽	覿	觀						
角	752					觚	觜	觝	觧	觴	觸
言	753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
	754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	詵	詭	詵
	755	誨	誠	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
	756	諚	諫	諳	諧	謔	諱	謔	諠	諢	諷

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
言	757	諞	諛	誾	諍	諡	諡	諼	謐	謗	謠
	758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
	759	證	譖	譖	譚	譫					
	760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
	761	讓	讖	讙	讃						
谷	761					谺	谿	谿			
豆	761								豈	豌	豎
	762	豐									
豕	762			豕	豢	豬					
豸	762					豸	豺	貂	貉	貊	貊
	763	貍	貌	貔	貅	貘					
貝	763						賤	賈	貪	貽	貲
	764	貳	貳	貶	買	貢	賎	賣	賚	賽	賺
	765	賻	贄	贅	贇	贅	贏	贍	贖	齎	贓
	766	賍	贔	贖							
赤	766				赧	赭					
走	766						走	赳	趁	趙	跂
足(⻊)	767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
	768	跟	跣	跼	踈	踉	踟	踝	踞	踐	踟

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
足(⻊)	769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
	770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
	771	蹣	蹕	蹶	蹻	蹼	躁	躇	躅	躔	躋
	772	躊	躓	躑	躡	躙	躪	躰			
身	772								躬	躰	體
	773	躱	躾	軀	軈						
車	773					軋	軛	軦	軼	軻	軫
	774	軾	軽	軺	軽	軿	輊	輓	輜	輟	輛
	775	輌	輦	輳	輻	輹	輾	轂	轅	轌	轉
	776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤			
辛	776								辜	辟	辣
	777	辭	辯								
辵(辶・辶)	777			辻	迚	迴	迢	迪	迯	邂	廻
	778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
	779	逧	透	逵	達	迸					
	780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	遨	遖	遘
	781	遞	遨	遯	遘	隨	遲	邂	遽	邁	邀
	782	邊	邉	邏							
邑(阝)	782				邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
	783	郷	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰				
酉	783							酊	酘	酘	酣
	784	酥	酩	酳	酲	酷	酵	酶	醢	醫	醤
	785	醪	醸	醴	醺	醸	釁				

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
釆	785							釉	釋		
里	785									釐	
金	785										釗
	786	釰	釜	釣	釵	釶	釦	釣	釿	鈔	鈬
	787	鈕	鈑	鈇	鈎	鉅	鉉	鉋	鉈	鉦	鈿
	788	鉋	鉐	鉤	鉢	鉸	鉚	鉾	鋏	鋳	銷
	789	銓	銕	銛	銜	銅					
	790		鏐	銭	錚	鋺	錺	銑	錻	鍛	鍠
	791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	睢
	792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
	793	鐓	鐃	鐥	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
	794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
	795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	鑼	鑿			
門	795								閂	閇	閊
	796	閔	閖	閘	閙	閏	閨	閧	閭	閾	閣
	797	閹	閾	閻	閼	閧	閽	閹	閼	閹	閾
	798	關	闡	闥	闢						
阜(阝)	798					阡	阨	阮	阯	陂	陌
	799	陏	陋	陷	陜	陞					
	800		陝	陟	陲	陲	陬	隍	隘	隕	隗
	801	險	隧	隱	隲	隰	隴				
隶	801							隶	隷		
隹	801									隹	雎
	802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕			

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
雨	802								雹	霄	霆
	803	霈	覓	雯	霑	霏	霖	霓	雷	霞	霰
	804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靡	靨		
青(靑)	804									靜	
非	804										靠
面	805	靤	靦	靨							
革	805				勒	靱	靱	靹	鞅	靼	鞁
	806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
	807	鞴	鞶	鞳	鞵						
韋	807					韋	韜				
韭	807							韭	齏	韲	
音	807										竟
	808	韶	韵								
頁	808			頇	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
	809	顔	顕	顚	顯	顰					
	810		顱	顴	顳						
風	810					颪	颯	颱	颶	飄	飃
	811	飆									

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
食(飠)	811		飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餬
	812	餞	餤	餅	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
	813	饐	饋	饑	饒	饌	饗				
首	813							馗	馘		
香	813									馥	
馬	813										馭
	814	馮	馼	駆	駛	駝	駘	駕	駭	駮	駱
	815	駲	駸	駻	駾	騏	騅	騁	騙	騫	騒
	816	驅	驂	驀	驃	驟	驕	驍	驛	驗	驟
	817	驢	驥	驤	驩	驫	驪				
骨	817							骭	骰	骼	髀
	818	髏	髑	髓	體						
高	818					鬟					
髟	818						髟	髦	髯	髫	髳
	819	髭	髪	髴	髷	髯					
	820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣		
鬥	820									鬥	鬧
	821	鬩	鬪	鬮	鬱						
鬯	821					鬯					

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
鬲	821						鬲				
鬼	821							魄	魅	魏	魍
	822	魎	魑	魔							
魚	822				魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
	823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鯖	鯛	鯡	鯢	鯣
	824	鯤	鯢	鯱	鯰	鯵	鯵	鯱	鯰	鯰	鰕
	825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰔	鰹
	826	鰹	鰾	鰤	鰡	鰐	鰥	鰲	鰳	鰾	鰻
	827	鰺	鱧	鱶	鱸						
鳥	827					鳧	鳥	鳰	鴉	鴈	鴇
	828	鴃	鴆	鴎	鴦	鴬	鴪	鴟	鴎	鴕	鴿
	829	鵁	鵄	鵆	鵈	鵐					
	830		鵝	鵞	鵠	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
	831	鶇	鶉	鶏	鶚	鶫	鶯	鶲	鶴	鶸	鶺
	832	鶻	鶹	鶺	鶺	鷁	鷂	鷆	鷏	鷓	鷙
	833	鷦	鷭	鷯	鷲	鷸					
鹵	833						鹵	鹹	鹽		
鹿	833									麁	麈
	834	麋	麕	麒	麝	麕	麝				
麥	834							麥	麩	麸	麹
	835	麭									

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
麻	835		靡								
黄(黃)	835			黌							
黍	835				黎	黏	黐				
黒(黑)	835							黔	黜	點	黝
	836	黠	黟	黨	黯	黴	黶	黷			
黹	836								黹	黻	黼
黽	837	黽	鼇	鼈							
皷	837				皷	鼕					
鼠	837						鼡	鼬			
鼻	837								鼾		
齊(斉)	837									齊	

		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
齒(歯)	837										齒
	838	齙	齟	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
	839	齲	齶								
龍	839			龕							
龜	839				龜						
龠	840		堯	槇	遙	瑤	龠				

索引

ア

Iキー　10
空きエリア　23、24
アップルメニュー　3、20
アプリケーション　vii、3、4、5、20、22、32、40
インストーラ　35、36
インストール　34、35、36
英語　vii、4、7、25、32、39
英文字入力　6
英文字モード　25
Lキー　11、13～16
enterキー　9
"OK"　27、28
Osaka　24
大阪　34、
"オプション"　29
optionキー　6、7、16、17、40
オプションキャラクタ　17、40

カ

カタカナ入力　6
かな漢字変換　22、26、29、37、40
"かな入力"　2
漢字キャッシュ　22
"漢字Talk"　21、26
漢字への変換　10
"漢字"ボックス　28
漢字変換　17
外字作成画面　13、14
"外字登録"　13
外字登録　13
外字の作成　13
"学習機能"　29
学習機能　16
Keyboard　3
"Keyboard"　25
キーボード　2
記号　17、23、32
既存文字の修正　24
起動ハードディスク　3
基本辞書　27、29
旧バージョン　vii、33
Kyoto　33
京都　36、37
句点コード　17、18、24、26、42、62
句読点　33
クローズボックス　20、24
Kキー　6、7、10
"検索"　23、27、28
候補ウインドウ　10、11、13、14、15、16
"コード入力"　17、26
コード入力　17、22
コード番号　23、24
"コントロールパネル"　20
コントロールパネル　3、17、20、29

サ

再起動　29、36
最大辞書サイズ　27
"削除"　28
システム設定　20
システフフォルダ　27、35
システムフォント　37
shiftキー　2、5、12、13、15
シフトJISコード　18、24、26
熟語　12
ショートカット　37
"新規"　27
Jキー　11～13、15
辞書ウインドウ　27
辞書機能　27
JISコード　17、18、26
JIS第1水準　34、42
JIS第2水準　34、50
スクリプトマネージャ　vii、25
スクリプトマネージャ表示　5、6
スペースバー　7、10、12～16
専門辞書　27
全角　4、6

タ

"タイプ" 13
tabキー 7、8
単漢字 14
濁音 5
中ゴシック体 35、36
長音 5
Teach Text 3
deleteキー 5、15、23、28
"登録" 27、28
"閉じる" 3、20、24
トランスリタレーション 4、9
dot 26

ナ

"2.0変換" 22、23、26、27
日本語 vii、5、25、32、37、40
入力ウインドウ 5、7、9、32
入力方法 22
入力ボックス 23
入力モード 4、8
入力モード表示 5、6
入力ウインドウ 27

ハ

ハードディスク 32
半角 4、6
半濁音 5
backspaceキー 5、15、23、28
ひらがな入力 5
"開く" 3
"品詞" 27、28
フォント 23
フォントカード 34
フォントディスク 21、35
フォントファイル 34、35
フォントリソースインストーラディスク 38
複合語 12
文節の区切り 13、29、37
プロポーショナル文字 4、6
細明朝体 34、35、36

マ

マイクロフォント 21
未定義文字 21
文字情報 23
文字化け vii
モジュール 20、21、25～27
文字列の登録 28

ヤ

"US" 25
ユーザ辞書 16、27、29
"読み"ボックス 28

ラ

RAM 22、32
RAMメモリ 29
"リスタート" 29
returnキー 5、7、8、11、12、14～16
Laser WriterIINTX－J 34
連文節 13
"ローマ字入力" 2
ローマ字変換 39

Apple Computer Japan
アップルコンピュータジャパン株式会社
〒106　東京都港区六本木1-4-30　第25森ビル23 F ☎(03)224-7000(代)

J030-3390-B
Printed in Singapore